

ECLEF-NV1G 形
CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応
ゲートウェイユニット
FB ライブラリ リファレンスマニュアル
(GX Works3 用)

対象ユニット:
ECLEF-NV1G

《目次》

1. 概要	5
1.1. FB ライブラリ概要	5
1.2. FB ライブラリ機能内容	5
1.3. システム構成例	6
1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定	7
1.5. グローバルラベルの設定	12
1.6. インタロックプログラムの作成	14
1.6.1 サイクリック伝送のプログラム	14
1.6.2 トランジェント伝送のプログラム	15
1.7. 関連マニュアル	16
1.8. お願い	16
2. FB ライブラリ詳細	17
2.1. P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R (カメラ位置移動)	17
2.2. P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R (カメラ生存チェック)	27
2.3. P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R (カメラ位置取得)	35
2.4. P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R (イベント送信)	44
2.5. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R (イベント受信)	53
2.6. P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R (CC-Link IE エラー履歴取得)	63
2.7. P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R (ONVIF エラー履歴取得)	73
2.8. P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R (ユニットエラー履歴取得)	83
2.9. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R (イベントハンドリング履歴取得)	93
2.10. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R (ソケット通信 送信)	105
2.11. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R (ソケット通信 受信)	114
付録 1. FB ライブラリ使用例	122
付録 1.1. システム構成例	122
付録 1.2. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定	123
付録 1.3. グローバルラベルの設定	124
付録 1.4. 使用デバイス一覧	125
付録 1.5. プログラム	129
付録 1.5.1. P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R (カメラ位置移動)	129
付録 1.5.2. P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R (カメラ生存チェック)	130
付録 1.5.3. P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R (カメラ位置取得)	131
付録 1.5.4. P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R (イベント送信)	132
付録 1.5.5. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R (イベント受信)	134
付録 1.5.6. P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R (CC-Link IE エラー履歴取得)	136
付録 1.5.7. P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R (ONVIF エラー履歴取得)	139
付録 1.5.8. P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R (ユニットエラー履歴取得)	142
付録 1.5.9. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R (イベントハンドリング履歴取得)	145
付録 1.5.10. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R (ソケット通信 送信)	148
付録 1.5.11. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R (ソケット通信 受信)	149



付録 2. 1 枚のマス・ローカルユニットに接続された 2 台のゲートウェイユニットに FB を使用する方法	151
付録 2.1. 必須設定	152
付録 2.2. 基本設定	153
付録 2.3. グローバルラベルの設定	156
付録 2.4. ライブラリのコピー (複製)	158
付録 2.5. デバイスの置き換え	159
付録 3. 2 枚のマス・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法	160
付録 3.1. 必須設定	161
付録 3.2. 基本設定	162
付録 3.3. グローバルラベルの設定	166
付録 3.4. ライブラリのコピー (複製)	168
付録 3.5. デバイスの置き換え	169
付録 4. エラーコード一覧	170
付録 4.1. FB エラーコード一覧	170
付録 4.2. 機器エラーコード一覧	172



リファレンスマニュアル改訂履歴

リファレンスマニュアル番号	改訂日	改訂内容
50CM-D180211-A	2017/06/16	新規作成
50CM-D180211-B	2018/01/26	誤記修正



1. 概要

1.1. FB ライブラリ概要

本 FB ライブラリは、ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット(以下、ゲートウェイユニットと略します)を使用するための FB ライブラリです。

1.2. FB ライブラリ機能内容

FB 名称 (※1)	内容 (※2)
P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R	指定したカメラの撮影方向を登録した位置に向けます。
P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R	指定したカメラの生存チェックをおこないます。
P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R	指定したカメラの現在位置番号を取得します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R	イベントを送信します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R	受信しているイベントの内容を読み出します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R	CC-Link IE フィールドネットワークのエラー履歴を取得します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R	ONVIF ネットワークのエラー履歴を取得します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R	ユニットのエラー履歴を取得します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R	イベントハンドリングの実行履歴を取得します。
P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R	ONVIF ネットワーク上の機器へデータを送信します。(※3)
P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R	ONVIF ネットワーク上の機器から受信したデータを読み出します。(※3)

※1 FB 名称の末尾には“_00A”などの FB バージョン情報が表示されますが、本リファレンスマニュアルでは記載しません。

※2 ゲートウェイユニットに日時データが正しく設定されていない場合、ONVIF ネットワークを介した動作が正常におこなわれない場合があります。

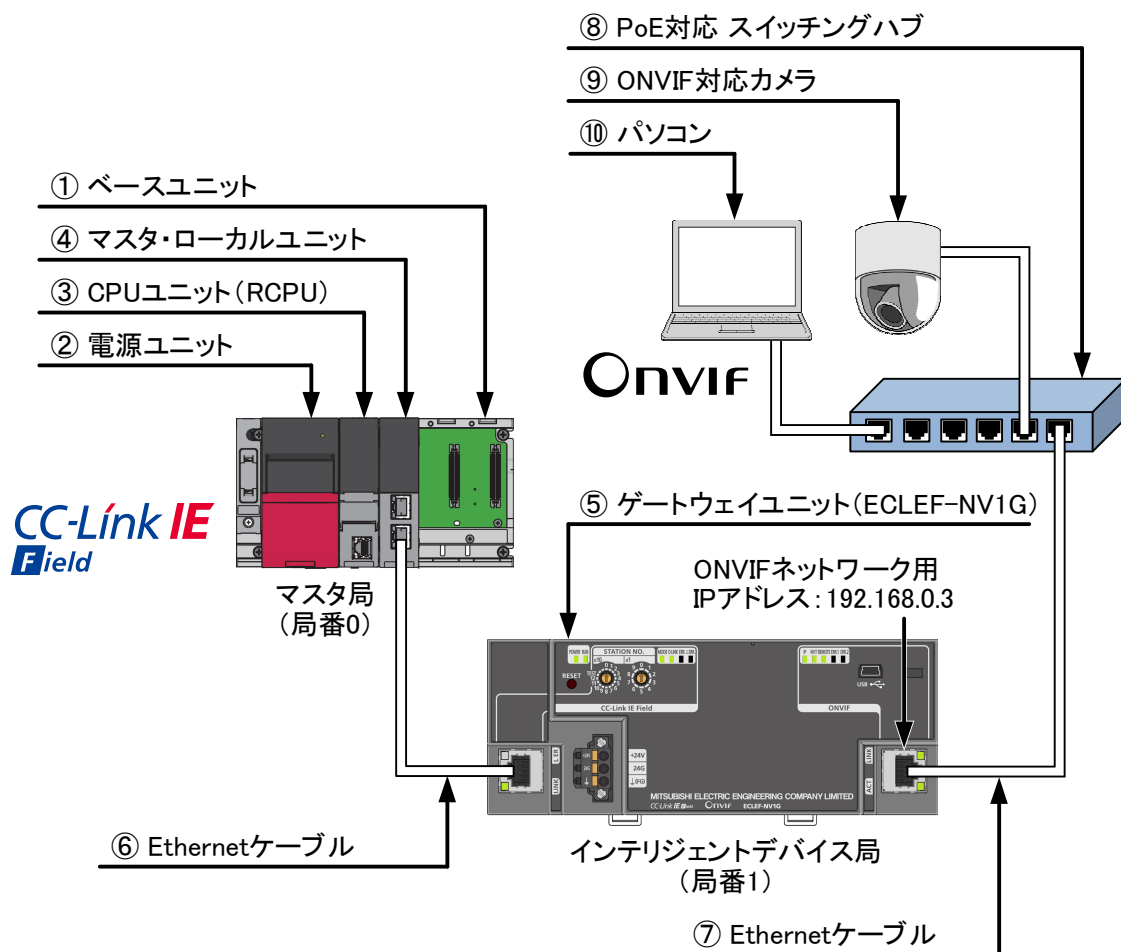
ゲートウェイユニットの起動後、CC-Link IE フィールドネットワーク経由でマスタユニットより日時情報を取得してください。CC-Link IE フィールドネットワークのリンクが確立すると、CPU ユニットの時計情報がゲートウェイユニットへ自動的に設定されます。

※3 通信相手がソケット通信機能を有する機器(パソコンなど)である必要があります。



1.3. システム構成例

(1) MELSEC iQ-R シリーズのシステム構成



No.	機器名	説明	
①	CC-Link IE フィールド マスタ局	ベースユニット	
②		電源ユニット	
③		CPU ユニット	
		シリーズ	モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ	RCPU
④		CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニット	
⑤	ゲートウェイユニット	CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニット	
⑥	Ethernet ケーブル	CC-Link IE フィールドネットワーク用 Ethernet ケーブル	
⑦	Ethernet ケーブル	カテゴリ 5e 以上の Ethernet ケーブル	
⑧	PoE 対応 スイッチングハブ	Power over Ethernet 対応 スwitchingハブユニット ※ゲートウェイユニットは非 PoE ポートに接続してください。	
⑨	ONVIF 対応カメラ	ONVIF 規格準拠ネットワークカメラ	
⑩	パソコン	Windows パソコン	



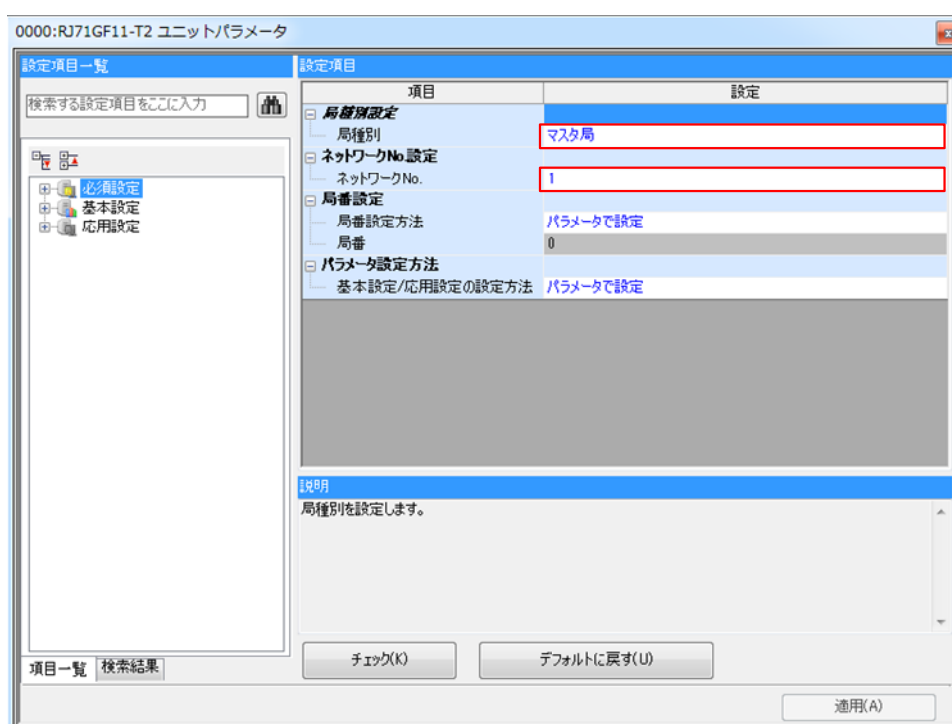
1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定

項「1.3. システム構成例」に基づく CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定を説明します。

GX Works3 を用いて、以下の項目を設定します。

(1) 必須設定

項目	内容
局種別	「マスタ局」を選択します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク No.を設定します。 本項の例では、「1」を設定します。



(2) 基本設定

①ネットワーク構成設定

項目	内容
局番	マスタ局に接続するスレーブ局の局番を設定します。 本項の例では、「1」を設定します。
局種別	マスタ局に接続するスレーブ局の局種別を設定します。 本項の例では、「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/RY 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RX/RY の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「80 点」、先頭に「0000」を設定します。(※1)
RWw/RWr 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RWw/RWr の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「1024 点」、先頭に「0000」を設定します。(※1)
予約/エラー無効局/ 系切替え監視対象局	本項の例では、「設定なし」を設定します。

※1 各デバイス設定の先頭は、項「1.5. グローバルラベルの設定」の「M_RX」、「M_RY」、「M_RWw」、
「M_RWr」に合わせる必要があります。



② リンクリフレッシュ設定

項目	内容	設定値
特殊リレー(SB)	SB デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「001FF」 CPU 側デバイス名 :「SB」 CPU 側先頭 :「00000」
特殊レジスタ(SW)	SW デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「001FF」 CPU 側デバイス名 :「SW」 CPU 側先頭 :「00000」
リモート入力(RX)	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RX」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「0004F」 CPU 側デバイス名 :「X」 CPU 側先頭 :「01000」
リモート出力(RY)	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RY」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「0004F」 CPU 側デバイス名 :「Y」 CPU 側先頭 :「01000」
リモートレジスタ(RW _r)	RW _r デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _r 」 リンク側先頭 :「0000」 リンク側最終 :「003FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「00000」
リモートレジスタ(RW _w)	RW _w デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _w 」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「003FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「00400」



0000:RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

検索する設定項目をここに入力

- 必須設定
- 基本設定
 - ネットワーク構成設定
 - リフレッシュ設定
 - 伝送路形式設定
 - マスタ局復列時動作設定
- 応用設定

設定項目

項目	設定
ネットワーク構成設定	<詳細設定>
リフレッシュ設定	<詳細設定>
伝送路形式設定	ライン接続、スター接続、またはスター接続とライン接続の混在
マスタ局復列時動作設定	マスタ動作局として復列する

説明

リフレッシュを設定します。

チェック(K) デフォルトに戻す(U)

適用(A)

No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	X	80	01000	0104F
2	RY	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	Y	80	01000	0104F
3	RWr	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	00000	003FF
4	RWw	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	00400	007FF
5					↔					



1.5. グローバルラベルの設定

本 FB を使用する際は、以下のグローバルラベルの設定が必要です。

グローバルラベルの設定方法を説明します。

- (1) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル — Global」を選択します。

「グローバルラベル設定」の「簡易表示」を「詳細表示」に切り替えます。



- (2) M_RX リモート出力 (RX) の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RX」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「X1000」に、インデックスレジスタ「Z9」を付加して入力します。 「X1000Z9」を入力します。

- (3) M_RY リモート出力 (RY) の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RY」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「Y1000」に、インデックスレジスタ「Z8」を付加して入力します。 「Y1000Z8」を入力します。



(4) M_RWw リモートレジスタ(RWw)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWw」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W400」に、インデックスレジスタ「Z7」を付加して入力します。 「W400Z7」を入力します。

(5) M_RWr リモートレジスタ(RWr)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWr」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W0」に、インデックスレジスタ「Z6」を付加して入力します。 「W0Z6」を入力します。

Global [グローバルラベル設定]

<フィルタ> 簡易表示(Y) 表示設定(S) チェック(K)

	ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント
1	M_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1 00029			Rxリフレッシュデバイス
2	M_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 00028			Ryリフレッシュデバイス
3	M_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W400Z7			RWwリフレッシュデバイス
4	M_RWr	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0Z6			RWrリフレッシュデバイス
5							



1.6. インタロックプログラムの作成

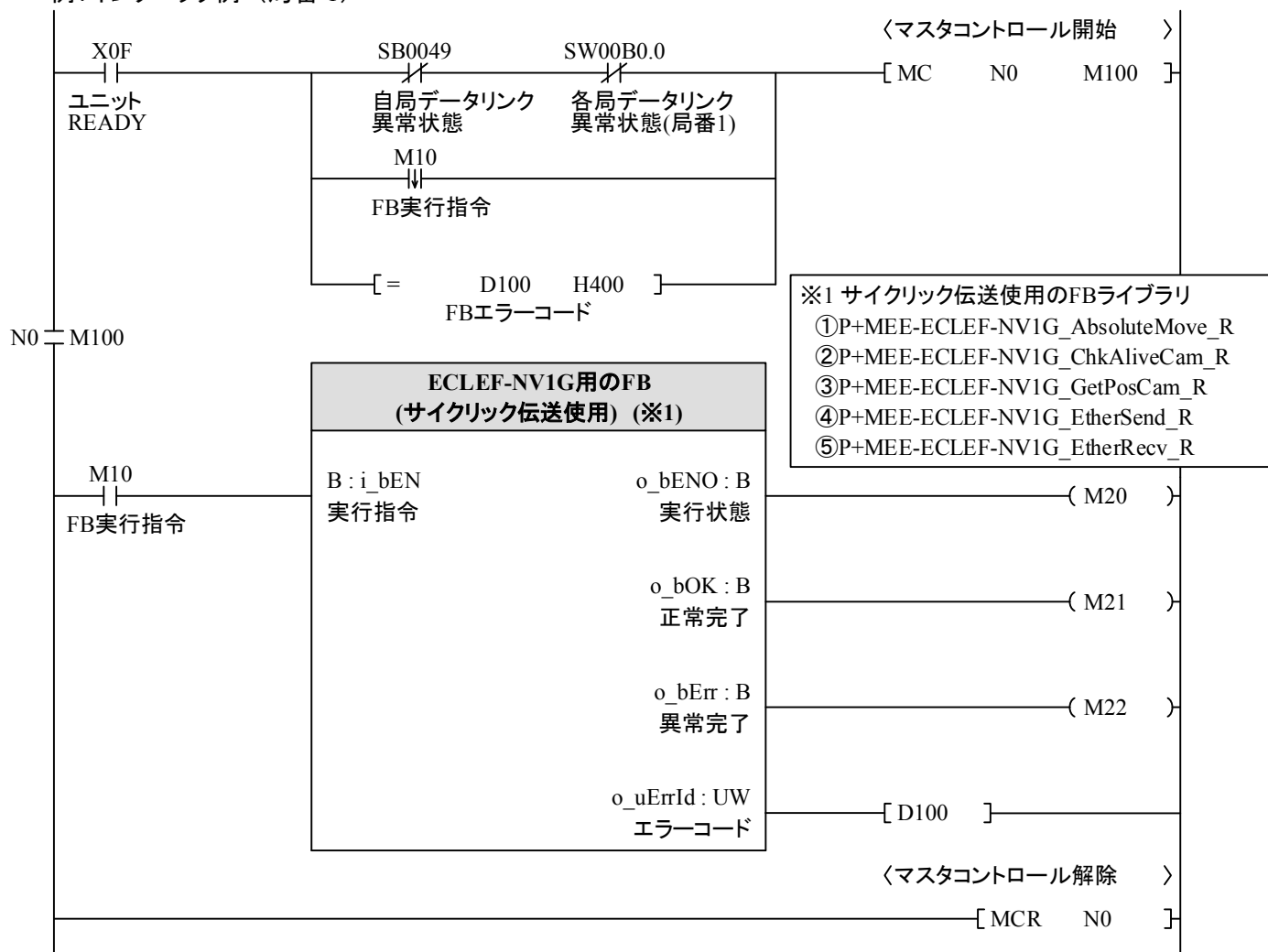
本 FB を使用する際は、インタロックプログラムの作成が必要です。以下にインタロックプログラムの例を示します。
(MC 命令と MCR 命令の間に該当する FB を設定してください。)

1.6.1 サイクリック伝送のプログラム

サイクリック伝送でのインタロックプログラムでは、下記のデバイスでインタロックをとってください。

- ・各局データリンク異常状態 (SW00B0～SW00B7)
- ・自局データリンク異常状態 (SB0049)
- ・ユニット READY (X0F)
- ・FB 実行指令 (M10)
- ・FB エラーコード (D100) : H400 = FB 実行中止

例: インタロック例 (局番 1)

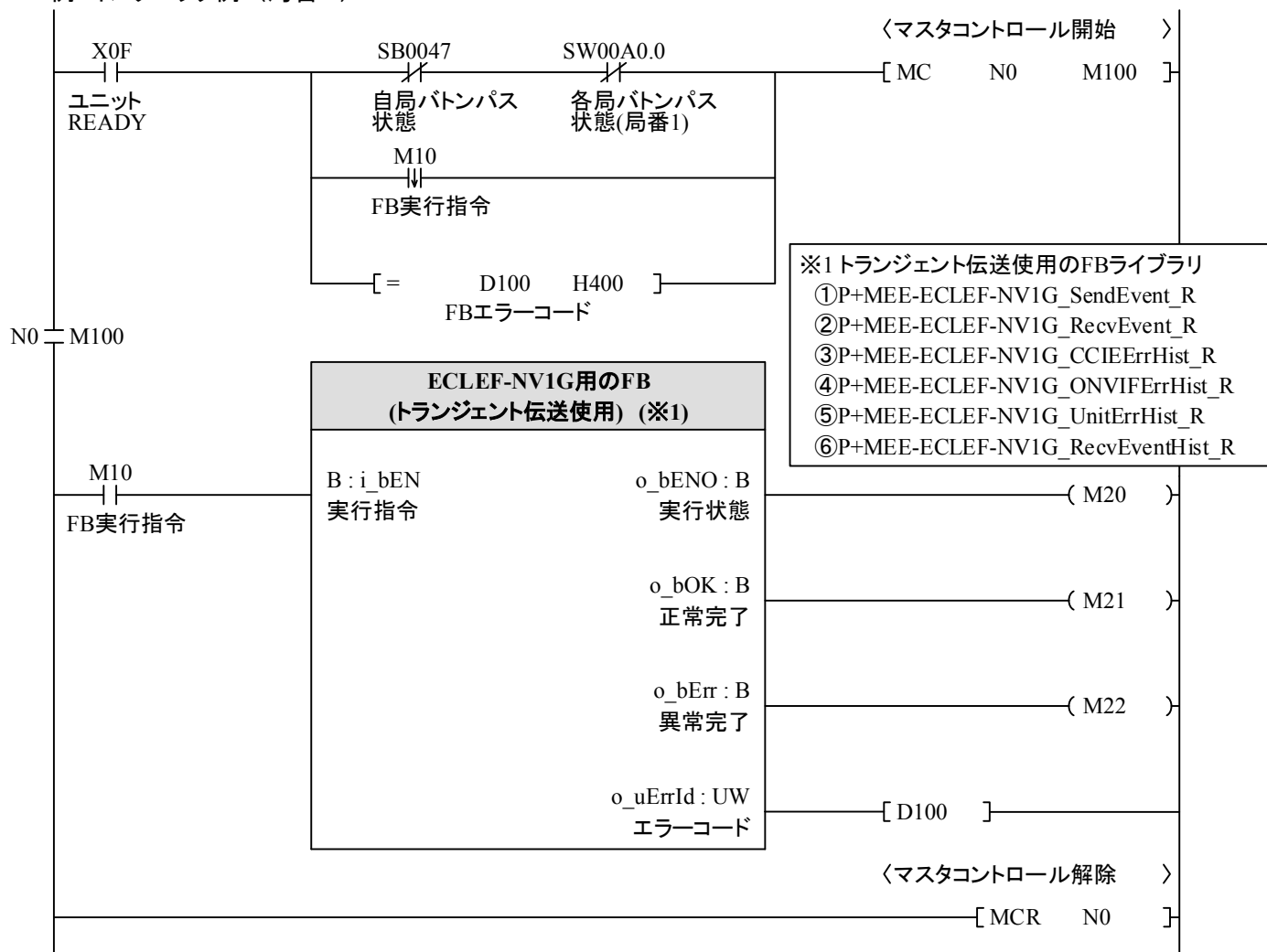


1.6.2 トランジェント伝送のプログラム

トランジェント伝送でのインタロックプログラムでは、下記のデバイスでインタロックをとってください。

- ・自局バトンパス状態（SB0047）
- ・各局バトンパス状態（SW00A0～SW00A7）
- ・ユニット READY（X0F）
- ・FB 実行指令（M10）
- ・FB エラーコード（D100）： H400 = FB 実行中止

例：インタロック例（局番 1）



1.7. 関連マニュアル

MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)	(SH-081255)
MELSEC iQ-R CPU ユーザズマニュアル(応用編)	(SH-081224)
GX Works3 オペレーティングマニュアル	(SH-081214)
ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザズマニュアル(詳細編)	(50CM-D180206)

1.8. お願い

ご使用の前に、必ず対象製品の最新ユーザズマニュアルをお読みください。



2. FB ライブラリ詳細

2.1. P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R（カメラ位置移動）

名称

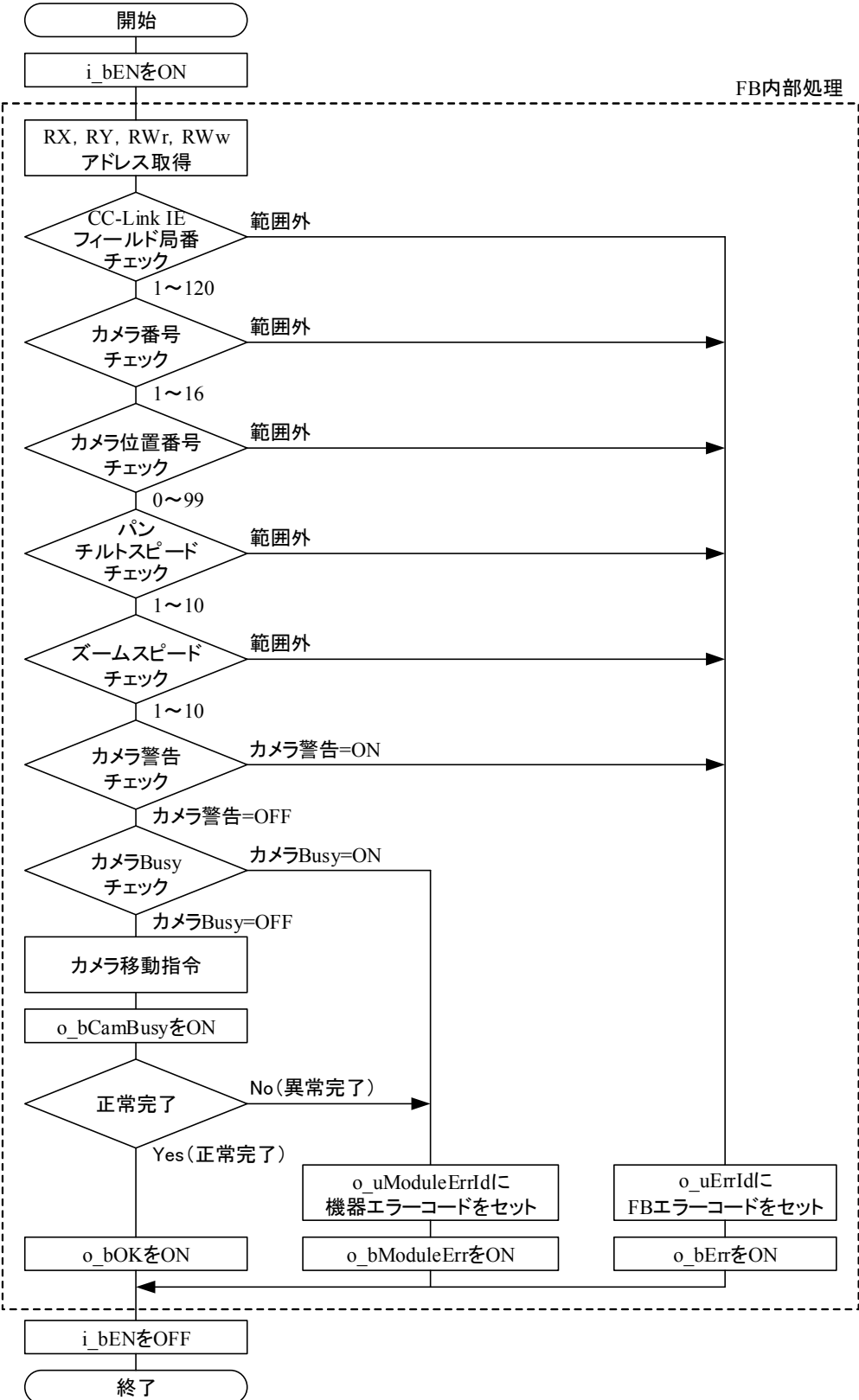
P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R

機能内容

項目	内容																																			
機能概要	指定したカメラの撮影方向を登録した位置に向けます。																																			
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>マスタユニット装着 XYアドレス</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>カメラ番号</td><td>W : i_wCameraNo</td><td>o_uErrId : UW</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>カメラ位置番号</td><td>W : i_wCameraPosNo</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>機器異常完了</td></tr><tr><td>パンチルトスピード</td><td>W : i_wPanTiltSpeed</td><td>o_uModuleErrId : UW</td><td>機器エラーコード</td></tr><tr><td>ズームスピード</td><td>W : i_wZoomSpeed</td><td>o_bCamBusy : B</td><td>カメラBusy状態</td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R				実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	正常完了	CC-Link IEフィールド ネットワーク局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了	カメラ番号	W : i_wCameraNo	o_uErrId : UW	エラーコード	カメラ位置番号	W : i_wCameraPosNo	o_bModuleErr : B	機器異常完了	パンチルトスピード	W : i_wPanTiltSpeed	o_uModuleErrId : UW	機器エラーコード	ズームスピード	W : i_wZoomSpeed	o_bCamBusy : B	カメラBusy状態
P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R																																				
実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																	
マスタユニット装着 XYアドレス	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	正常完了																																	
CC-Link IEフィールド ネットワーク局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了																																	
カメラ番号	W : i_wCameraNo	o_uErrId : UW	エラーコード																																	
カメラ位置番号	W : i_wCameraPosNo	o_bModuleErr : B	機器異常完了																																	
パンチルトスピード	W : i_wPanTiltSpeed	o_uModuleErrId : UW	機器エラーコード																																	
ズームスピード	W : i_wZoomSpeed	o_bCamBusy : B	カメラBusy状態																																	
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G																																		
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>			シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																												
	シリーズ	モデル																																		
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																			
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>			シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																													
シリーズ	モデル																																			
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																			

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	980 Step（MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合） ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	



項目	内容
機能説明	<p>1) i_bEN (実行指令) の ON にて, i_wCameraNo (カメラ番号) で指定したカメラに設定された i_wCameraPosNo (カメラ位置番号) の方向にカメラ位置を移動します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> OnEN[i_bENをON] OnEN --> FBBox subgraph FBBox [FB内部処理] GetAdd[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> Check1{CC-Link IE フィールド局番 チェック 1~120} Check1 -- 範囲外 --> SetErrFB[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] SetErrFB --> OnErr[o_bErrをON] OnErr --> OffEN[i_bENをOFF] OffEN --> End([終了]) Check1 -- 範囲内 --> Check2{カメラ番号 チェック 1~16} Check2 -- 範囲外 --> SetErrFB Check2 -- 範囲内 --> Check3{カメラ位置番号 チェック 0~99} Check3 -- 範囲外 --> SetErrFB Check3 -- 範囲内 --> Check4{パン チルトスピード チェック 1~10} Check4 -- 範囲外 --> SetErrFB Check4 -- 範囲内 --> Check5{ズームスピード チェック 1~10} Check5 -- 範囲外 --> SetErrFB Check5 -- 範囲内 --> Check6{カメラ警告 チェック} Check6 -- カメラ警告=ON --> SetErrFB Check6 -- カメラ警告=OFF --> Check7{カメラBusy チェック} Check7 -- カメラBusy=ON --> SetErrMod[o_uModuleErrIdに 機器エラーコードをセット] SetErrMod --> OnModErr[o_bModuleErrをON] OnModErr --> OffEN Check7 -- カメラBusy=OFF --> MoveCmd[カメラ移動指令] MoveCmd --> OnCamBusy[o_bCamBusyをON] OnCamBusy --> CheckComp{正常完了} CheckComp -- Yes (正常完了) --> OnOK[o_bOKをON] OnOK --> OffEN CheckComp -- No (異常完了) --> SetErrMod end OffEN --> End </pre>



項目	内容
機能説明	<p>2) カメラ移動中は, o_bCamBusy(カメラ Busy 状態)が ON し, カメラの動作が完了したタイミングで o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wCameraNo(カメラ番号)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wCameraPosNo(カメラ位置番号)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wPanTiltSpeed(パンチルトスピード)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) i_wZoomSpeed(ズームスピード)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>8) 機器異常が発生した場合は, o_bModuleErr(機器異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uModuleErrId(機器エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>9) 指定したカメラ位置番号に位置が登録されていない場合は, o_bModuleErr(機器異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uModuleErrId(機器エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>10) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。 インタロックプログラムに関しては、項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) パンチルトスピード可変機能およびズームスピード可変機能に対応していないカメラの場合は、当該の設定は無効となります。</p> <p>11) 本 FB を複数使用することにより、複数のカメラに対してカメラ位置移動を同時におこなうことが可能です。 指定するカメラ番号は、それぞれの FB で異なるカメラ番号を指定してください。</p> <p>12) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wCameraNo (カメラ番号) i_wCameraPosNo (カメラ位置番号) i_wPanTiltSpeed (パンチルトスピード) i_wZoomSpeed (ズームスピード)</p> <p>13) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>14) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>15) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	【機器異常完了の場合】



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なっています。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H102	カメラ番号が 1～16 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H103	カメラ位置番号が 0～99 の範囲外です。	
H104	パンチルトスピードが 1～10 の範囲外です。	
H105	ズームスピードが 1～10 の範囲外です。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H202	カメラ警告が ON しています。	ゲートウェイ設定ツールのメンテナンス画面にてエラー内容を確認してください。
H203	カメラが Busy 状態になっています。	しばらくしてから、再度 FB を実行してください。 同じカメラ番号を指定しているカメラ位置移動 FB の実行指令を OFF してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例:X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1～120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1～120 になるよう に設定してください。
カメラ番号	i_wCameraNo	ワード [符号あり]	1～16	「ゲートウェイ設定ツール」で設定したカメラ 番号を指定します。
カメラ位置番号	i_wCameraPosNo	ワード [符号あり]	0～99	「ゲートウェイ設定ツール」で設定したカメラ 位置番号を指定します。
パンチルトスピード	i_wPanTiltSpeed	ワード [符号あり]	1～10	パンチルトスピード指定機能に対応した カメラに対して移動スピードを指定します。 「1」低速 ～ 「10」高速を設定します。
ズームスピード	i_wZoomSpeed	ワード [符号あり]	1～10	ズームスピード指定機能に対応したカメラに 対して移動スピードを指定します。 「1」低速 ～ 「10」高速を設定します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にカメラの位置移動要求が完了したことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
機器異常完了	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON の場合, 構成機器内で異常が発生したことを示します。
機器エラーコード	o_uModuleErrId	ワード [符号なし]	0	構成機器内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
カメラ Busy 状態	o_bCamBusy	ビット	OFF	ON : i_wCameraNo(カメラ番号)で指定したカメラが移動状態です OFF : i_wCameraNo(カメラ番号)で指定したカメラが停止状態です



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。

使用されるカメラによっては, パンチルトスピード指定機能, ズームスピード指定機能などに機能制限があります。



2.2. P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R（カメラ生存チェック）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	指定したカメラの生存チェックをおこないます。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>—— B : i_bEN</div><div>o_bENO : B</div><div>—— 実行状態</div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>—— W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B</div><div>—— 正常完了</div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>—— W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B</div><div>—— 異常完了</div><div>カメラ番号</div><div>—— W : i_wCameraNo</div><div>o_uErrId : UW</div><div>—— エラーコード</div><div>o_bModuleErr : B</div><div>—— 機器異常完了</div><div>o_uModuleErrId : UW</div><div>—— 機器エラーコード</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容					
対象機器	GX Works3	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>Version 1.015R 以降</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	Version 1.015R 以降
		シリーズ	モデル			
MELSEC iQ-R シリーズ	Version 1.015R 以降					
記述言語	ラダー					
ステップ数	590 Step（MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合） ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。					
機能説明	1) i_bEN(実行指令)の ON にて、i_wCameraNo(カメラ番号)で指定したカメラの生存チェックをおこないます。					
	<div><div><div><div><div>開始</div><div>i_bENをON</div></div><div><div><div><div>RX, RY, RWr, RWw アドレス取得</div><div>CC-Link IE フィールド局番 チェック 1～120</div><div>カメラ番号 チェック 1～16</div><div>カメラ生存チェック</div><div>正常完了</div></div><div><div>範囲外</div><div>範囲外</div><div>No(異常完了)</div><div>Yes(正常完了)</div></div><div><div><div>o_uModuleErrIdに 機器エラーコードをセット</div><div>o_bModuleErrをON</div></div><div><div>o_uErrIdに FBエラーコードをセット</div><div>o_bErrをON</div></div></div><div><div>o_bOKをON</div><div>i_bENをOFF</div><div>終了</div></div></div></div><div>FB内部処理</div></div></div></div>					
	2) カメラの生存が確認された場合は、o_bOK(正常完了)が ON します。					
	3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。					



項目	内容
機能説明	<p>4) i_wCameraNo(カメラ番号)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) 機器異常が発生した場合は, o_bModuleErr(機器異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uModuleErrId(機器エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項, 注意事項等	<p>1) 本 FB は, エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については, お客様のシステムや要求動作に応じて, 別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で, 本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は, i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は, o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は, インデックスレジスタ Z6~Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は, すべての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は, サイクリック伝送を使用しているため, サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては, 項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB を複数使用することにより, 複数のカメラに対してカメラ生存チェックを同時におこなうことはできません。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は, 以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wCameraNo (カメラ番号)</p> <p>12) 本 FB は, 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため, 本 FB を複数使用した場合, コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが, 使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は, 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は, 「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは, GX Works3 の表示可能文字数制限により, 省略形で記載していることがあります。</p>



項目	内容
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。
入出力 信号の 動き	<div> <p>【正常完了の場合】</p> </div> <div> <p>【異常完了の場合】</p> </div> <div> <p>【中止の場合】</p> </div> <div> <p>【機器異常完了の場合】</p> </div>



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)の設定値
H102	カメラ番号が 1～16 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1～120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1～120 になるよう に設定してください。
カメラ番号	i_wCameraNo	ワード [符号あり]	1～16	「ゲートウェイ設定ツール」で設定したカメラ 番号を指定します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にカメラの生存が確認できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
機器異常完了	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON の場合, 構成機器内で異常が発生したことを示します。
機器エラーコード	o_uModuleErrId	ワード [符号なし]	0	構成機器内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みください。



2.3. P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R（カメラ位置取得）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	指定したカメラの現在位置番号を取得します。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R</div><div><div><div>実行指令 — B : i_bEN</div><div>o_bENO : B — 実行状態</div><div>マスタユニット装着 XYアドレス — W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B — 正常完了</div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番 — W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B — 異常完了</div><div>カメラ番号 — W : i_wCameraNo</div><div>o_uErrId : UW — エラーコード</div><div>o_bModuleErr : B — 機器異常完了</div><div>o_uModuleErrId : UW — 機器エラーコード</div><div>o_wCameraPosNo : W — カメラ位置番号</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容			
対象機器	GX Works3			
		<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>Version 1.015R 以降</td></tr></table>	シリーズ	モデル
シリーズ	モデル			
MELSEC iQ-R シリーズ	Version 1.015R 以降			
記述言語	ラダー			
ステップ数	635 Step（MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合） ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。			
機能説明	1) i_bEN(実行指令)の ON にて、i_wCameraNo(カメラ番号)で指定したカメラの現在位置番号を取得します。			
	<div><div><div><div><div>開始</div><div>i_bENをON</div></div><div><div><div><div>RX, RY, RWr, RWw アドレス取得</div><div>CC-Link IE フィールド局番 チェック</div><div>カメラ番号 チェック</div><div>カメラ位置取得</div><div>正常完了</div><div>o_wCameraPosNoに カメラ位置番号をセット</div><div>o_bOKをON</div></div><div><div>範囲外</div><div>範囲外</div><div>No(異常完了)</div><div>Yes(正常完了)</div></div><div><div><div>o_uModuleErrIdに 機器エラーコードをセット</div><div>o_bModuleErrをON</div></div><div><div>o_uErrIdに FBエラーコードをセット</div><div>o_bErrをON</div></div></div></div><div><div>FB内部処理</div><div><div><div><div>→</div><div>→</div><div>←</div></div></div></div><div><div>i_bENをOFF</div><div>終了</div></div></div></div></div></div></div>			



項目	内容
機能説明	<p>2) カメラ位置の取得に成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。取得したカメラ位置番号が o_wCameraPosNo(カメラ位置番号)に 0~99 の範囲で格納されます。 登録されていない位置の場合は, o_wCameraPosNo(カメラ位置番号)に H00FF が格納されます。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wCameraNo(カメラ番号)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) 機器異常が発生した場合は, o_bModuleErr(機器異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。 o_uModuleErrId(機器エラーコード)にエラーコードが格納されます。 また, o_wCameraPosNo(カメラ位置番号)に HFFFF が格納されます。</p> <p>6) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。 o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。 インタロックプログラムに関しては、項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB を複数使用することにより、複数のカメラに対してカメラ位置取得を同時におこなうことはできません。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wCameraNo (カメラ番号)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 対象のカメラに同じカメラ位置を重複して登録している場合は、若い位置番号が出力されます。</p> <p>14) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>15) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	【機器異常完了の場合】



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)の設定値
H102	カメラ番号が 1～16 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1～120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1～120 になるよう に設定してください。
カメラ番号	i_wCameraNo	ワード [符号あり]	1～16	「ゲートウェイ設定ツール」で設定したカメラ 番号を指定します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にカメラの位置が取得できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
機器異常完了	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON の場合, 構成機器内で異常が発生したことを示します。
機器エラーコード	o_uModuleErrId	ワード [符号なし]	0	構成機器内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
カメラ位置番号	o_wCameraPosNo	ワード [符号あり]	0	正常完了時, 取得したカメラ位置番号を示します。(0~99) 登録されていない位置の場合は, H00FF が格納されます。 カメラ位置取得ができない場合は HFFFF が格納され, 機器エラーコードに ONVIF 関連のエラーコードを格納します。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みください。



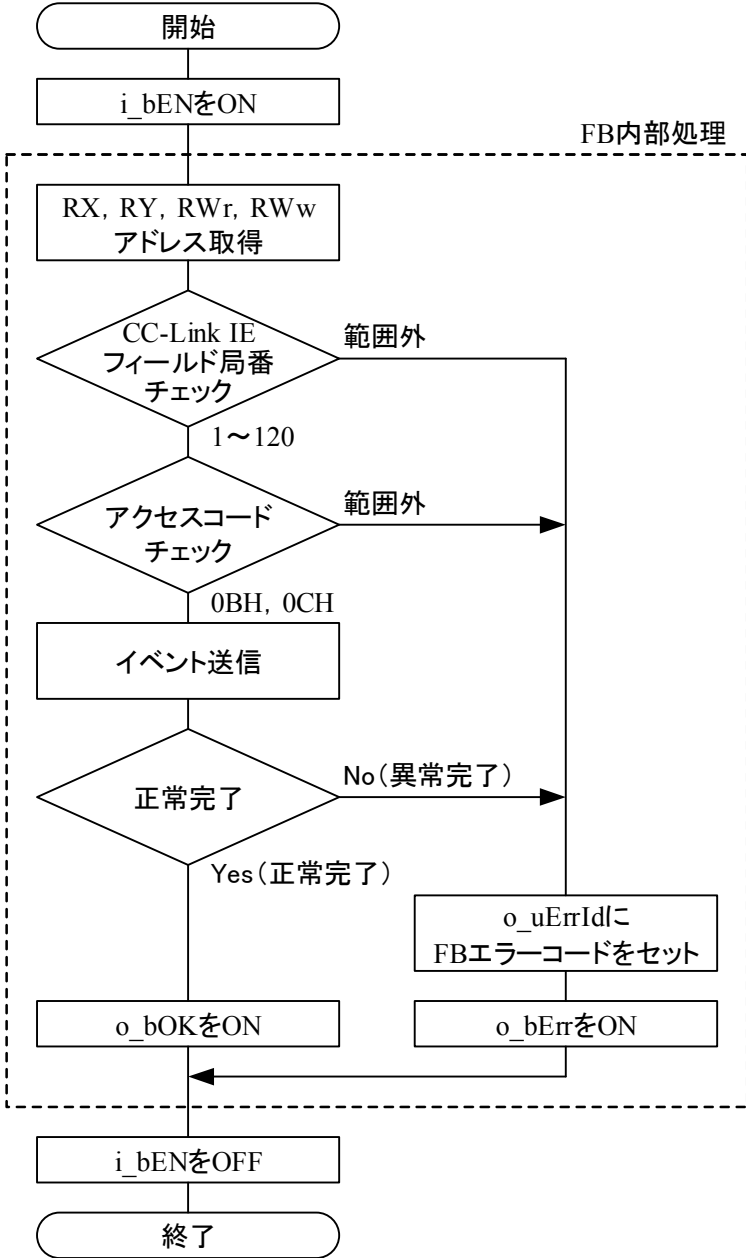
2.4. P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R（イベント送信）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	イベントを送信します。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>B : i_bEN</div><div>o_bENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>アクセスコード</div><div>W : i_wAccessCode</div><div>o_uErrId : UW</div><div>エラーコード</div></div><div><div>ソース</div><div>W : i_wSource</div></div><div><div>データ1</div><div>W : i_wData1</div></div><div><div>データ2</div><div>W : i_wData2</div></div><div><div>データ3</div><div>W : i_wData3</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	463 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、イベントを送信します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> FB_Internal subgraph FB_Internal [FB内部処理] direction TB A[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> B{CC-Link IE フィールド局番 チェック} B -- 範囲外 --> E[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] B -- 1~120 --> C{アクセスコード チェック} C -- 範囲外 --> E C -- 0BH, 0CH --> D[イベント送信] D --> F{正常完了} F -- No(異常完了) --> E F -- Yes(正常完了) --> G[o_bOKをON] E --> H[o_bErrをON] G --> H end H --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) イベントの送信に成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wAccessCode(アクセスコード)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) イベントの送信に失敗した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.2 トランジェント伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wAccessCode (アクセスコード) i_wSource (ソース) i_wData1 (データ 1) i_wData2 (データ 2) i_wData3 (データ 3)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)の設定値
H106	イベント送信のアクセスコードが H0B, H0C 以外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例:X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。
アクセスコード	i_wAccessCode	ワード [符号あり]	H0B, H0C	アクセスコードを指定します。 H0B: ユーザーアラーム 侵入検出など高レベルのイベント H0C: ユーザーイベント ロット番号など通常レベルのイベント
ソース	i_wSource	ワード [符号あり]	—	送信データ(Source)を指定します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※2)
データ 1	i_wData1	ワード [符号あり]	—	送信データ(Data1)を指定します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※2)
データ 2	i_wData2	ワード [符号あり]	—	送信データ(Data2)を指定します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※2)
データ 3	i_wData3	ワード [符号あり]	—	送信データ(Data3)を指定します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※2)

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザズマニュアルを参照してください。

※2 ソース, データ 1, データ 2, データ 3 は, デバイス範囲が重複しないように注意してください。



イベント送信は、以下のデータ内容(任意の文字列)にて送信をおこないます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	データサイズ
xx0 + i_wSource	ソース	ワード [符号あり]	32 ワード(64Byte)
xx0 + i_wData1	データ 1	ワード [符号あり]	32 ワード(64Byte)
xx0 + i_wData2	データ 2	ワード [符号あり]	32 ワード(64Byte)
xx0 + i_wData3	データ 3	ワード [符号あり]	32 ワード(64Byte)

※ xx は、デバイス名称になります。

例：侵入禁止エリアの侵入検出の場合（ユーザーアラーム H0B）

i_wSource : D100
i_wData1 : D200
i_wData2 : D300
i_wData3 : D400

デバイス	データ内容(文字列)	内容
D100～D131	“INTRUSION”	侵入検出
D200～D231	“FLOOR_3”	侵入階
D300～D331	“AREA_2”	侵入地域番号
D400～D431	“SENSOR_5”	侵入検出センサー番号

(2) 出力ラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合、正常にイベントを送信できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合、FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



2.5. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R（イベント受信）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R

機能内容

項目	内容																															
機能概要	受信しているイベントの内容を読み出します。																															
シンボル	<table><tr><td colspan="3">P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R</td></tr><tr><td>実行指令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B 実行状態</td></tr><tr><td>マスタユニット装着 XYアドレス</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B 正常完了</td></tr><tr><td>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B 異常完了</td></tr><tr><td>イベント受信番号</td><td>W : i_wEventRecvNo</td><td>o_uErrId : UW エラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wDate : W 日時データ</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wSource : W ソース</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wData1 : W データ1</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wData2 : W データ2</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wData3 : W データ3</td></tr></table>		P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R			実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B 実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W : i_wStartIONo	o_bOK : B 正常完了	CC-Link IEフィールド ネットワーク局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B 異常完了	イベント受信番号	W : i_wEventRecvNo	o_uErrId : UW エラーコード			o_wDate : W 日時データ			o_wSource : W ソース			o_wData1 : W データ1			o_wData2 : W データ2			o_wData3 : W データ3
P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R																																
実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B 実行状態																														
マスタユニット装着 XYアドレス	W : i_wStartIONo	o_bOK : B 正常完了																														
CC-Link IEフィールド ネットワーク局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B 異常完了																														
イベント受信番号	W : i_wEventRecvNo	o_uErrId : UW エラーコード																														
		o_wDate : W 日時データ																														
		o_wSource : W ソース																														
		o_wData1 : W データ1																														
		o_wData2 : W データ2																														
		o_wData3 : W データ3																														
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G																														
	対象CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																										
	シリーズ	モデル																														
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																															
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																											
シリーズ	モデル																															
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																															

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	598 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、受信しているイベントの内容を読み出します。受信しているイベントがない場合は、イベントを受信するまで待機し、イベントの受信完了後に読み出しを開始します。</p> <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> RX_RY_RWr_RWw[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] RX_RY_RWr_RWw --> CC_Link_IE{CC-Link IE フィールド局番 チェック} CC_Link_IE -- 範囲外 --> FB_内部処理 CC_Link_IE -- 1~120 --> Event_Receive_No{イベント受信番号 チェック} Event_Receive_No -- 範囲外 --> FB_内部処理 Event_Receive_No -- 1~16 --> Event_Receive_No_1{イベント受信 チェック} Event_Receive_No_1 -- イベント受信なし --> Event_Receive_No_1 Event_Receive_No_1 -- イベント受信あり --> Event_Read[イベント読み出し] Event_Read --> Normal_End{正常完了} Normal_End -- No(異常完了) --> FB_内部処理 Normal_End -- Yes(正常完了) --> o_bOK_ON[o_bOKをON] o_bOK_ON --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] i_bEN_OFF --> End([終了]) subgraph FB_内部処理 o_uErrId[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] o_bErr_ON[o_bErrをON] end FB_内部処理 --> o_bErr_ON o_bErr_ON --> FB_内部処理 </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) イベントの読み出しに成功した場合は、o_bOK(正常完了)が ON します。 o_wSource(ソース), o_wData1(データ 1), o_wData2(データ 2), o_wData3(データ 3)に受信データが格納されます。</p> <p>3) o_bOK(正常完了)が ON になった後、次のイベントを受信するためには、i_bEN(実行指令)を OFF にする必要があります。</p> <p>4) イベントの読み出しが完了するまでの間は、o_bENO(実行状態)が ON した状態のまま、o_bOK(正常完了)が ON しません。</p> <p>5) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wEventRecvNo(イベント受信番号)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)が ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) 上記以外のエラーが発生した場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.2 トランジェント伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wEventRecvNo (イベント受信番号)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)の設定値
H107	イベント受信番号が 1～16 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1～120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1～120 になるよう に設定してください。
イベント受信番号	i_wEventRecvNo	ワード [符号あり]	1～16	「ゲートウェイ設定ツール」で設定した受信 するイベント番号を指定します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にイベントの内容を読み出しできたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコードを返します。
日時データ	o_wDate	ワード [符号あり]	0	受信時の日時データを示します。 3 ワードのエリアが必要です。 3 ワード固定で転送します。(※1)
ソース	o_wSource	ワード [符号あり]	0	受信データ(Source)を示します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※1)
データ 1	o_wData1	ワード [符号あり]	0	受信データ(Data1)を示します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※1)
データ 2	o_wData2	ワード [符号あり]	0	受信データ(Data2)を示します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※1)
データ 3	o_wData3	ワード [符号あり]	0	受信データ(Data3)を示します。 32 ワードのエリアが必要です。 32 ワード固定で転送します。(※1)

※1 日時データ, ソース, データ 1, データ 2, データ 3 は, デバイス範囲が重複しないように注意してください。



① 日時データ

ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx0 + o_wDate	発生日時(年月)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>(</div> <div>上位 8bit: 西暦の下 2 桁</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>下位 8bit: 月</div> <div>)</div> </div> </div>	BCD 形式にて格納されます。 日時を取得するまでは、すべて HFFFF です。
xx1 + o_wDate	発生日時(日時)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>(</div> <div>上位 8bit: 日</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>下位 8bit: 時(24 時間計)</div> <div>)</div> </div> </div>	
xx2 + o_wDate	発生日時(分秒)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>(</div> <div>上位 8bit: 分</div> <div>)</div> <div> <div>(</div> <div>下位 8bit: 秒</div> <div>)</div> </div> </div>	

※ xx は、デバイス名称になります。

② イベントの内容

受信したイベントの内容は、以下のデータ内容(任意の文字列)にて読み出されます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	データサイズ
xx0 + o_wSource	ソース	ワード	32 ワード(64Byte)
xx0 + o_wData1	データ 1	ワード	32 ワード(64Byte)
xx0 + o_wData2	データ 2	ワード	32 ワード(64Byte)
xx0 + o_wData3	データ 3	ワード	32 ワード(64Byte)

※ xx は、デバイス名称になります。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



2.6. P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R (CC-Link IE エラー履歴取得)

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	CC-Link IE フィールドネットワークのエラー履歴を取得します。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>B : i_bEN</div><div>o_bENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>エラー履歴 読み出し開始位置</div><div>W : i_wErrHistStart</div><div>o_uErrId : UW</div><div>エラーコード</div></div><div><div>エラー履歴読み出し点数</div><div>W : i_wErrHistCount</div><div>o_wReadData : W</div><div>エラー履歴読み出し データ</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	496 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、CC-Link IE フィールドネットワークのエラー履歴を取得します。</p> <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> FB_Internal[FB内部処理] subgraph FB_Internal [FB内部処理] RX_RY_RWr_RWw[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> CC_Link_IE[CC-Link IE フィールド局番 チェック] CC_Link_IE -- 範囲外 --> FB_End([終了]) CC_Link_IE -- 1~120 --> Error_History_Start[エラー履歴 読み出し開始位置 チェック] Error_History_Start -- 範囲外 --> FB_End Error_History_Start -- 1~50 --> Error_History_Count[エラー履歴 読み出し点数 チェック] Error_History_Count -- 範囲外 --> FB_End Error_History_Count -- 1~50 --> Read_Start_Pos[読み出し 開始位置+点数 チェック] Read_Start_Pos -- 範囲外 --> FB_End Read_Start_Pos -- 2~51 --> CC_Link_IE_Error[CC-Link IEフィールド エラー履歴取得] CC_Link_IE_Error --> Normal_End{正常完了} Normal_End -- No(異常完了) --> Set_Error[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] Set_Error --> o_bErr_ON[o_bErrをON] Normal_End -- Yes(正常完了) --> o_bOK_ON[o_bOKをON] end o_bErr_ON --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] o_bOK_ON --> i_bEN_OFF i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) CC-Link IE フィールドネットワークのエラー履歴の取得に成功した場合は、o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)が正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)と i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)の組み合わせが正しく設定されていない場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) CC-Link IE フィールドネットワークのエラー履歴の取得に失敗した場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>8) 上記以外のエラーが発生した場合は、o_bErr(異常完了)を ON し、FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.2 トランジェント伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wErrHistStart (エラー履歴読み出し開始位置) i_wErrHistCount (エラー履歴読み出し点数)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なっています。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H108	エラー履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H109	エラー履歴読み出し点数が 1～50 の範囲外です。	
H10A	エラー履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。
エラー履歴 読み出し開始位置	i_wErrHistStart	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す開始位置(先頭履歴 番号)を指定します。
エラー履歴 読み出し点数	i_wErrHistCount	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す点数(履歴数)を指定 します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常に CC-Link IE フィールド ネットワークのエラー履歴を取得できたこと を示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
エラー履歴 読み出しデータ	o_wReadData	ワード [符号あり]	0	CC-Link IE フィールドネットワークのエラー 履歴を示します。 8 ワード×エラー履歴読み出し点数分の サイズが必要です。 内容の詳細は「①エラー履歴エリア」および 「②履歴データ詳細」を参照してください。



① エラー履歴エリア

エラー履歴は以下の順番で格納されます。

発生したエラー数が 50 個を超えた場合は、古いエラーから削除され常時最新のエラーが格納されます。

エラー履歴エリア	エラー発生数					
	1 個	2 個	～	49 個	50 個	51 個
エラー履歴エリア 1	1 個目のエラー	2 個目のエラー	～	49 個目のエラー	50 個目のエラー	51 個目のエラー
エラー履歴エリア 2	ブランク	1 個目のエラー	～	48 個目のエラー	49 個目のエラー	50 個目のエラー
}	}	}	}	}	}	}
エラー履歴エリア 49	ブランク	ブランク	～	1 個目のエラー	2 個目のエラー	3 個目のエラー
エラー履歴エリア 50	ブランク	ブランク	～	ブランク	1 個目のエラー	2 個目のエラー



② 履歴データ詳細

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx0 + o_wReadData	発生日時(年月)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合、および日時を 取得していない場合は、 すべて HFFFF です。
xx1 + o_wReadData	発生日時(日時)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計))	
xx2 + o_wReadData	発生日時(分秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒)	
xx3 + o_wReadData	稼働時間(日)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (起動から稼働した日数)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが 起動した時点からの 経過時間です。
xx4 + o_wReadData	稼働時間(時分)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 時 下位 8bit: 分)	
xx5 + o_wReadData	稼働時間(秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用)	
xx6 + o_wReadData	エラー発生順	ワード [符号あり]	エラーが発生した順序	0~65535
xx7 + o_wReadData	エラーコード	ワード [符号あり]	発生したエラーに対する エラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールド ネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル (詳細編)を参照して ください。

※ xx は、デバイス名称になります。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みください。



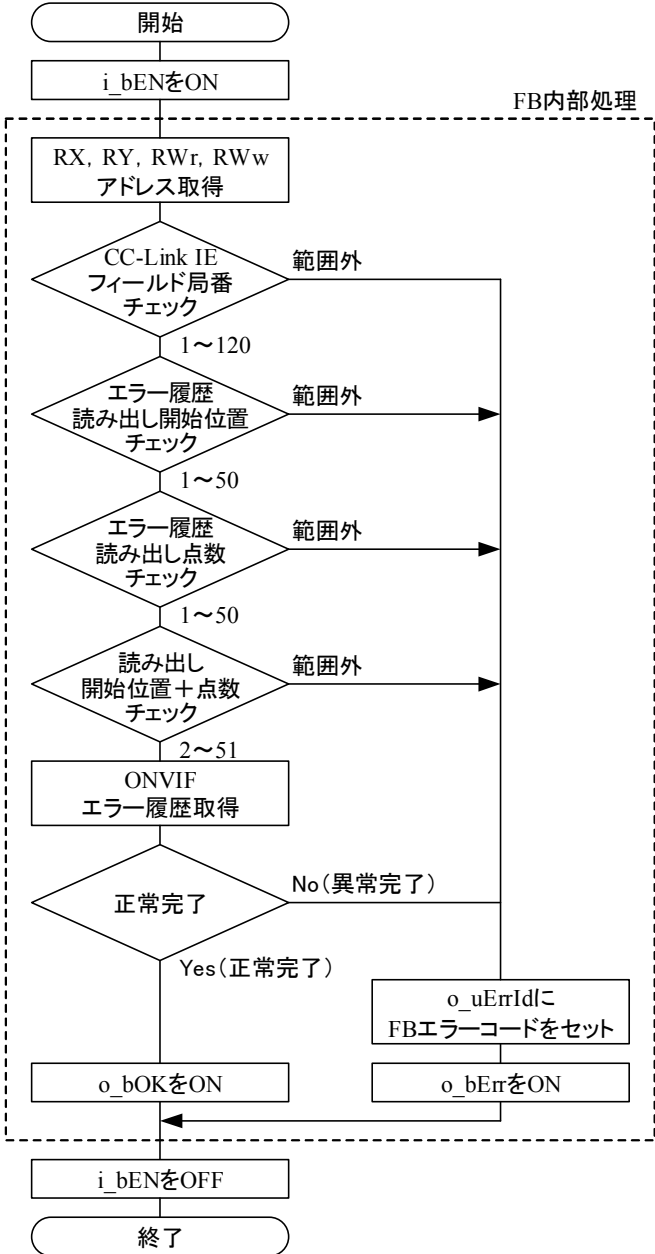
2.7. P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R (ONVIF エラー履歴取得)

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R

機能内容

項目	内容							
機能概要	ONVIF ネットワークのエラー履歴を取得します。							
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>B : i_bEN</div><div>o_bENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>エラー履歴 読み出し開始位置</div><div>W : i_wErrHistStart</div><div>o_uErrId : UW</div><div>エラーコード</div></div><div><div>エラー履歴読み出し点数</div><div>W : i_wErrHistCount</div><div>o_wReadData : W</div><div>エラー履歴読み出し データ</div></div></div></div></div>							
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G						
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>			シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
		シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2							
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>			シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル							
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU							

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	496 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、ONVIF ネットワークのエラー履歴を取得します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> FB_Internal[FB内部処理] subgraph FB_Internal [FB内部処理] RX[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> CC_Link[CC-Link IE フィールド局番 チェック 1~120] CC_Link -- 範囲外 --> Set_Error[No(異常完了) o_uErrIdに FBエラーコードをセット] CC_Link -- 範囲内 --> Start_Pos[エラー履歴 読み出し開始位置 チェック 1~50] Start_Pos -- 範囲外 --> Set_Error Start_Pos -- 範囲内 --> Count_Pos[エラー履歴 読み出し点数 チェック 1~50] Count_Pos -- 範囲外 --> Set_Error Count_Pos -- 範囲内 --> Range_Pos[読み出し 開始位置+点数 チェック 2~51] Range_Pos -- 範囲外 --> Set_Error Range_Pos -- 範囲内 --> ONVIF[ONVIF エラー履歴取得] ONVIF --> Normal_Complete{正常完了} Normal_Complete -- No(異常完了) --> Set_Error Normal_Complete -- Yes(正常完了) --> o_bOK_ON[o_bOKをON] end Set_Error --> o_bErr_ON[o_bErrをON] o_bErr_ON --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] o_bOK_ON --> i_bEN_OFF i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) ONVIF ネットワークのエラー履歴の取得に成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)と i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)の組み合わせが正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) ONVIF ネットワークのエラー履歴の取得に失敗した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>8) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.2 トランジェント伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wErrHistStart (エラー履歴読み出し開始位置) i_wErrHistCount (エラー履歴読み出し点数)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なっています。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H108	エラー履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H109	エラー履歴読み出し点数が 1～50 の範囲外です。	
H10A	エラー履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。
エラー履歴 読み出し開始位置	i_wErrHistStart	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す開始位置(先頭履歴 番号)を指定します。
エラー履歴 読み出し点数	i_wErrHistCount	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す点数(履歴数)を指定 します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常に ONVIF ネットワークの エラー履歴を取得できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
エラー履歴 読み出しデータ	o_wReadData	ワード [符号あり]	0	ONVIF ネットワークのエラー履歴を示します。 9 ワード×エラー履歴読み出し点数分の サイズが必要です。 内容の詳細は「①エラー履歴エリア」および 「②履歴データ詳細」を参照してください。



① エラー履歴エリア

エラー履歴は以下の順番で格納されます。

発生したエラー数が 50 個を超えた場合は、古いエラーから削除され常時最新のエラーが格納されます。

エラー履歴エリア	エラー発生数					
	1 個	2 個	～	49 個	50 個	51 個
エラー履歴エリア 1	1 個目のエラー	2 個目のエラー	～	49 個目のエラー	50 個目のエラー	51 個目のエラー
エラー履歴エリア 2	ブランク	1 個目のエラー	～	48 個目のエラー	49 個目のエラー	50 個目のエラー
}	}	}	}	}	}	}
エラー履歴エリア 49	ブランク	ブランク	～	1 個目のエラー	2 個目のエラー	3 個目のエラー
エラー履歴エリア 50	ブランク	ブランク	～	ブランク	1 個目のエラー	2 個目のエラー



② 履歴データ詳細

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx0 + o_wReadData	発生日時(年月)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合、および日時を 取得していない場合は、 すべて HFFFF です。
xx1 + o_wReadData	発生日時(日時)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計))	
xx2 + o_wReadData	発生日時(分秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒)	
xx3 + o_wReadData	稼働時間(日)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (起動から稼働した日数)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが 起動した時点からの 経過時間です。
xx4 + o_wReadData	稼働時間(時分)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 時 下位 8bit: 分)	
xx5 + o_wReadData	稼働時間(秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用)	
xx6 + o_wReadData	エラー発生順	ワード [符号あり]	エラーが発生した順序	0~65535
xx7 + o_wReadData	エラーコード	ワード [符号あり]	発生したエラーに対する エラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールド ネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル (詳細編)を参照して ください。
xx8 + o_wReadData	カメラ番号	ワード [符号あり]	0, エラーが発生したカメラの カメラ番号(1~16)	カメラに関与しない エラーの場合は 0 と なります。

※ xx は、デバイス名称になります。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



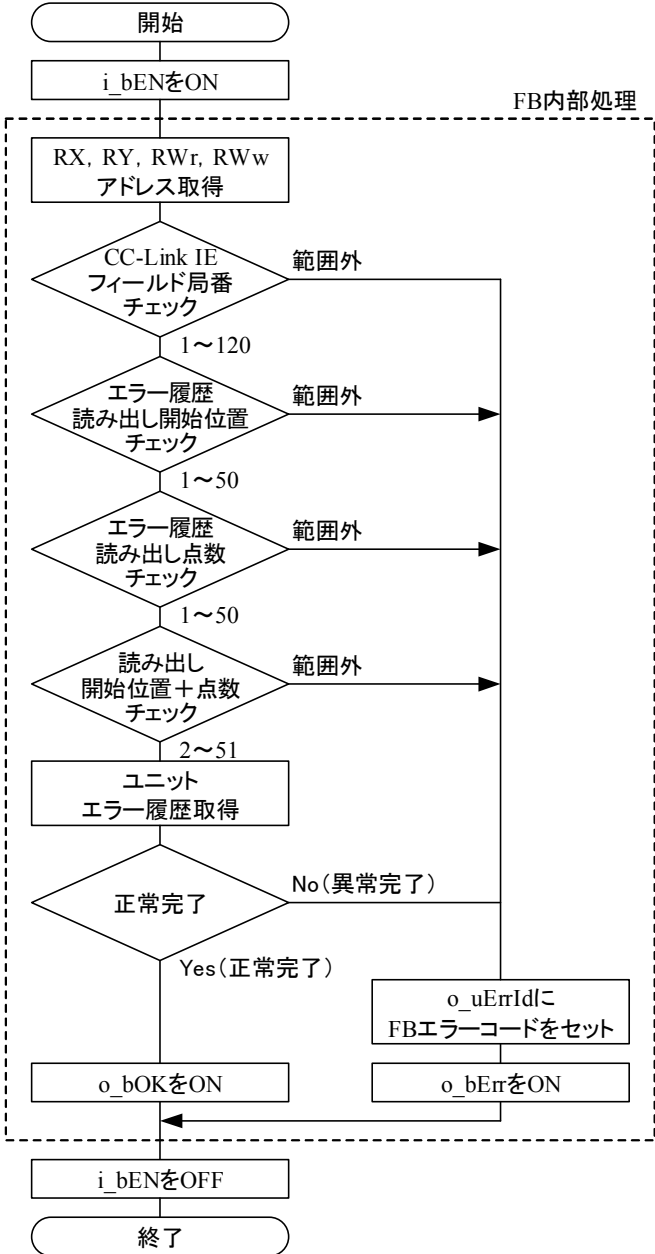
2.8. P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R（ユニットエラー履歴取得）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	ユニットのエラー履歴を取得します。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>エラー履歴 読み出し開始位置</div><div>エラー履歴読み出し点数</div></div><div><div>B : i_bEN</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>W : i_wStationNo</div><div>W : i_wErrHistStart</div><div>W : i_wErrHistCount</div></div><div><div>o_bENO : B</div><div>o_bOK : B</div><div>o_bErr : B</div><div>o_uErrId : UW</div><div>o_wReadData : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div><div>エラー履歴読み出し データ</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	496 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、ゲートウェイユニットのエラー履歴を取得します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> FB_Internal subgraph FB_Internal [FB内部処理] RX[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> CC_Link[CC-Link IE フィールド局番 チェック] CC_Link -- "範囲外 1~120" --> FB_End CC_Link -- "1~120" --> Error_Start[エラー履歴 読み出し開始位置 チェック] Error_Start -- "範囲外 1~50" --> FB_End Error_Start -- "1~50" --> Error_Count[エラー履歴 読み出し点数 チェック] Error_Count -- "範囲外 1~50" --> FB_End Error_Count -- "1~50" --> Read_Pos[読み出し 開始位置+点数 チェック] Read_Pos -- "範囲外 2~51" --> FB_End Read_Pos -- "2~51" --> Unit_Error[ユニット エラー履歴取得] Unit_Error --> Normal_Complete{正常完了} Normal_Complete -- "No(異常完了)" --> Set_Error[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] Set_Error --> Err_ON[o_bErrをON] Normal_Complete -- "Yes(正常完了)" --> OK_ON[o_bOKをON] end FB_End --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] Err_ON --> i_bEN_OFF OK_ON --> i_bEN_OFF i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) ゲートウェイユニットのエラー履歴の取得に成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wErrHistStart(エラー履歴読み出し開始位置)と i_wErrHistCount(エラー履歴読み出し点数)の組み合わせが正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) ゲートウェイユニットのエラー履歴の取得に失敗した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>8) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.2 トランジェント伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wErrHistStart (エラー履歴読み出し開始位置) i_wErrHistCount (エラー履歴読み出し点数)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なっています。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H108	エラー履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H109	エラー履歴読み出し点数が 1～50 の範囲外です。	
H20A	エラー履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。
エラー履歴 読み出し開始位置	i_wErrHistStart	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す開始位置(先頭履歴 番号)を指定します。
エラー履歴 読み出し点数	i_wErrHistCount	ワード [符号あり]	1~50	エラー履歴を読み出す点数(履歴数)を指定 します。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にユニットのエラー履歴を 取得できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
エラー履歴 読み出しデータ	o_wReadData	ワード [符号あり]	0	ユニットのエラー履歴を示します。 8 ワード×エラー履歴読み出し点数分の サイズが必要です。 内容の詳細は「①エラー履歴エリア」および 「②履歴データ詳細」を参照してください。



① エラー履歴エリア

エラー履歴は以下の順番で格納されます。

発生したエラー数が 50 個を超えた場合は、古いエラーから削除され常時最新のエラーが格納されます。

エラー履歴エリア	エラー発生数					
	1 個	2 個	～	49 個	50 個	51 個
エラー履歴エリア 1	1 個目のエラー	2 個目のエラー	～	49 個目のエラー	50 個目のエラー	51 個目のエラー
エラー履歴エリア 2	ブランク	1 個目のエラー	～	48 個目のエラー	49 個目のエラー	50 個目のエラー
}	}	}	}	}	}	}
エラー履歴エリア 49	ブランク	ブランク	～	1 個目のエラー	2 個目のエラー	3 個目のエラー
エラー履歴エリア 50	ブランク	ブランク	～	ブランク	1 個目のエラー	2 個目のエラー



② 履歴データ詳細

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx0 + o_wReadData	発生日時(年月)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合、および日時を 取得していない場合は、 すべて HFFFF です。
xx1 + o_wReadData	発生日時(日時)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計))	
xx2 + o_wReadData	発生日時(分秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生した日時 (上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒)	
xx3 + o_wReadData	稼働時間(日)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (起動から稼働した日数)	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが 起動した時点からの 経過時間です。
xx4 + o_wReadData	稼働時間(時分)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 時 下位 8bit: 分)	
xx5 + o_wReadData	稼働時間(秒)	ワード [符号あり]	エラーが発生するまでの時間 (上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用)	
xx6 + o_wReadData	エラー発生順	ワード [符号あり]	エラーが発生した順序	0~65535
xx7 + o_wReadData	エラーコード	ワード [符号あり]	発生したエラーに対する エラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールド ネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル (詳細編)を参照して ください。

※ xx は、デバイス名称になります。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



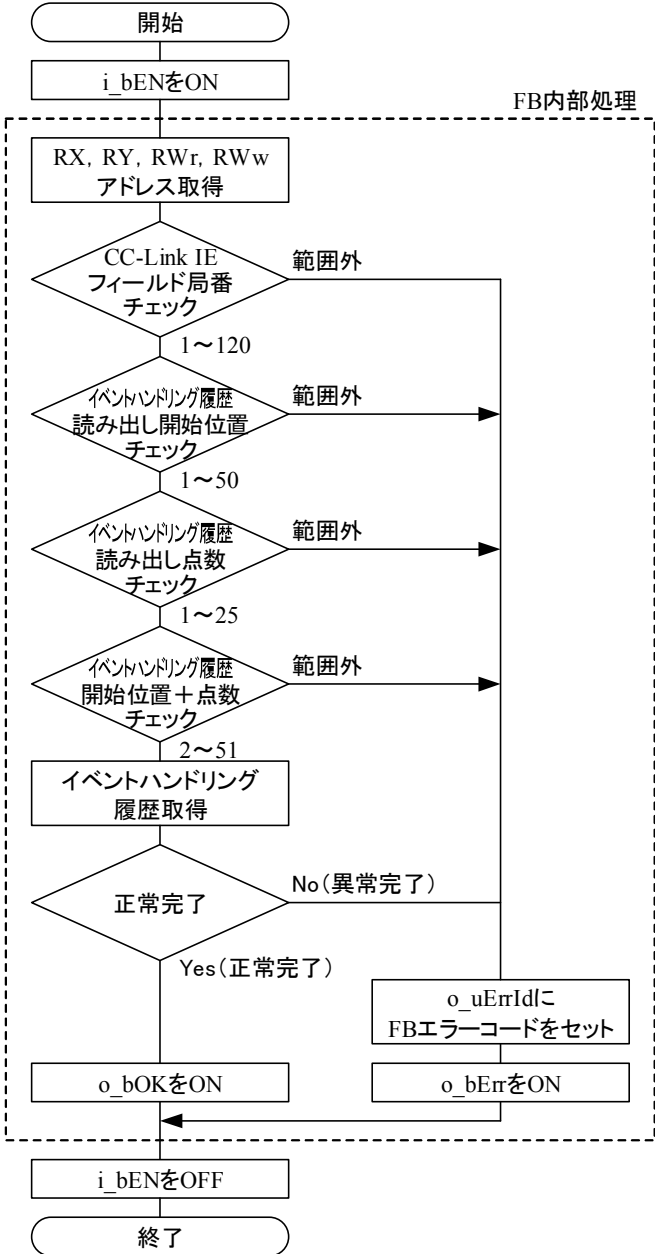
2.9. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R（イベントハンドリング履歴取得）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	イベントハンドリングの実行履歴を取得します。					
シンボル	<div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>イベントハンドリング履歴 読み出し開始位置</div><div>イベントハンドリング履歴 読み出し点数</div></div><div><div>B : i_bEN</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>W : i_wStationNo</div><div>W : i_wEvtHistStart</div><div>W : i_wEvtHistCount</div></div><div><div>o_bENO : B</div><div>o_bOK : B</div><div>o_bErr : B</div><div>o_uErrId : UW</div><div>o_wReadData : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div><div>イベントハンドリング履歴 読み出しデータ</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	496 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、イベントハンドリングの実行履歴を取得します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> FB_Internal[FB内部処理] subgraph FB_Internal [FB内部処理] RX[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> CC_Link[CC-Link IE フィールド局番 チェック 1~120] CC_Link -- 範囲外 --> Set_Error[o_uErrIdに FBエラーコードをセット] CC_Link -- 正常 --> Start_Pos[イベントハンドリング履歴 読み出し開始位置 チェック 1~50] Start_Pos -- 範囲外 --> Set_Error Start_Pos -- 正常 --> Read_Pos[イベントハンドリング履歴 読み出し点数 チェック 1~25] Read_Pos -- 範囲外 --> Set_Error Read_Pos -- 正常 --> End_Pos[イベントハンドリング履歴 開始位置+点数 チェック 2~51] End_Pos -- 範囲外 --> Set_Error End_Pos -- 正常 --> Get_Hist[イベントハンドリング 履歴取得] Get_Hist --> Normal_Complete{正常完了} Normal_Complete -- No(異常完了) --> Set_Error Normal_Complete -- Yes(正常完了) --> o_bOK_ON[o_bOKをON] end Set_Error --> o_bErr_ON[o_bErrをON] o_bErr_ON --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] o_bOK_ON --> i_bEN_OFF i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) イベントハンドリングの実行履歴の取得に成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wEvtHistStart(イベントハンドリング履歴読み出し開始位置)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wEvtHistCount(イベントハンドリング履歴読み出し点数)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) i_wEvtHistStart(イベントハンドリング履歴読み出し開始位置)と i_wEvtHistCount(イベントハンドリング履歴読み出し点数)の組み合わせが正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) イベントハンドリングの実行履歴の取得に失敗した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>8) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。 インタロックプログラムに関しては、項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_wEvtHistStart (イベントハンドリング履歴読み出し開始位置) i_wEvtHistCount (イベントハンドリング履歴読み出し点数)</p> <p>12) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>13) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>14) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なっています。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H10B	イベントハンドリング履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H10C	イベントハンドリング履歴読み出し点数が 1～25 の範囲外です。	
H10D	イベントハンドリング履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1～120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1～120 になるよう に設定してください。
イベントハンドリング 履歴読み出し開始 位置	i_wEvtHistStart	ワード [符号あり]	1～50	イベントハンドリング履歴を読み出す開始 位置(先頭履歴番号)を指定します。
イベントハンドリング 履歴読み出し点数	i_wEvtHistCount	ワード [符号あり]	1～25	イベントハンドリング履歴を読み出す点数 (履歴数)を指定します。 イベントハンドリング履歴を 26 点以上取得 する場合は、2 回に分けて取得してください。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にイベントハンドリングの 実行履歴を取得できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
イベントハンドリング 履歴 読み出しデータ	o_wReadData	ワード [符号あり]	0	イベントハンドリングの実行履歴を示します。 16 ワード×イベントハンドリング履歴読み 出し点数分のサイズが必要です。 内容の詳細は「①イベントハンドリング履歴 エリア」および「②履歴データ詳細」を参照 してください。



① イベントハンドリング履歴エリア

イベントハンドリング履歴は以下の順番で格納されます。

発生したイベントハンドリング数が50個を超えた場合は、古いイベントから削除され常時最新のイベントハンドリングが格納されます。

イベントハンドリング 履歴エリア	イベント発生数					
	1 個	2 個	～	49 個	50 個	51 個
イベントハンドリング 履歴エリア 1	1 個目の イベント	2 個目の イベント	～	49 個目の イベント	50 個目の イベント	51 個目の イベント
イベントハンドリング 履歴エリア 2	空白	1 個目の イベント	～	48 個目の イベント	49 個目の イベント	50 個目の イベント
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
イベントハンドリング 履歴エリア 49	空白	空白	～	1 個目の イベント	2 個目の イベント	3 個目の イベント
イベントハンドリング 履歴エリア 50	空白	空白	～	空白	1 個目の イベント	2 個目の イベント

※ 一度に取得できるイベントハンドリング履歴数は最大 25 点です。

26 点以上取得する場合は、2 回に分けて取得してください。



② 履歴データ詳細

イベントハンドリング履歴データ内容がイベントハンドリング履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx0 + o_wReadData	発生日時(年月)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信した日時 (上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月)	BCD 形式にて格納されます。 イベントが発生していない場合、および日時を取得していない場合は、すべて HFFFF です。
xx1 + o_wReadData	発生日時(日時)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信した日時 (上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計))	
xx2 + o_wReadData	発生日時(分秒)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信した日時 (上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒)	
xx3 + o_wReadData	稼働時間(日)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信するまでの時間 (起動から稼働した日数)	BCD 形式にて格納されます。 イベントが発生していない場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが起動した時点からの経過時間です。
xx4 + o_wReadData	稼働時間(時分)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信するまでの時間 (上位 8bit: 時 下位 8bit: 分)	
xx5 + o_wReadData	稼働時間(秒)	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信するまでの時間 (上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用)	
xx6 + o_wReadData	イベント発生順	ワード [符号あり]	イベントを送信または受信した順序	0~65535
xx7 + o_wReadData	送受信区分	ワード [符号あり]	ゲートウェイユニットが受信または送信したかの区分 H0000: イベント受信 H0001: イベント送信	—



ワードアドレス	データ内容	データ型	説明	備考
xx8+o_wReadData	イベント項目	ワード [符号あり]	H0000:Subscribe(購読開始) H0001:Renew(更新) H0002:Unsubscribe(購読終了) H0003:受信項目 H0004:送信項目	H0003 および H0004 の場合、データ内容 (xx13+o_wReadData) にデータ内容コード一覧の値が格納されます。
xx9+o_wReadData	送信元 IP アドレス	ダブルワード [符号あり]	送信元機器の IP アドレス 例: 192.168.0.1 の場合 H0100A8C0	イベント項目 (xx8+o_wReadData) が H0000~H0003 の場合のみ有効です。
xx11+o_wReadData	カメラ番号	ワード [符号あり]	対象のカメラ番号	イベント項目 (xx8+o_wReadData) が H0000~H0002 の場合のみ有効です。
xx12+o_wReadData	イベント番号	ワード [符号あり]	イベント番号(1~16)	イベント項目 (xx8+o_wReadData) が H0000~H0003 の場合のみ有効です。
xx13+o_wReadData	データ内容	ワード [符号あり]	「③ データ内容コード一覧」を参照してください	イベント項目 (xx8+o_wReadData) が H0003 または H0004 の場合のみ有効です。
xx14+o_wReadData	予約領域	ワード [符号あり]	使用できません	—
xx15+o_wReadData	予約領域	ワード [符号あり]	使用できません	—

※ xx は、デバイス名称になります。

③ データ内容コード一覧

項目	データ内容コード	内容
受信項目	H0004	「ゲートウェイ設定ツール」にて設定したイベントを受信しました。
送信項目	H0004	ユーザーアラーム (UserAlarm) を送信しました。
	H0005	ユーザーイベント (UserEvent) を送信しました。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



2.10. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R（ソケット通信 送信）

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	ONVIF ネットワーク上の機器へデータを送信します。					
シンボル	<div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R</div><div><div><div>実行指令</div><div>B : i_bEN</div><div>o_bENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>o_bOK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>CC-Link IEフィールド ネットワーク局番</div><div>W : i_wStationNo</div><div>o_bErr : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>送信先機器 IPアドレス</div><div>S : i_s32EtherIPAddr</div><div>o_uErrId : UW</div><div>エラーコード</div></div><div><div>送信先機器 ポート番号</div><div>W : i_wEtherPort</div><div>o_bModuleErr : B</div><div>機器異常完了</div></div><div><div>送信データサイズ</div><div>W : i_wSize</div><div>o_uModuleErrId : UW</div><div>機器エラーコード</div></div><div><div>送信データ</div><div>W : i_wSendData</div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象 CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					

項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	683 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、ONVIF ネットワークに接続されている i_s32EtherIPAddr(送信先機器 IP アドレス)にて指定された IP アドレスにソケット通信によるデータ送信をおこないます。</p> <p>ソケット通信のプロトコルは TCP(Transmission Control Protocol)です。</p> <pre> graph TD Start([開始]) --> IBENON[i_bENをON] IBENON --> FB subgraph FB [FB内部処理] RX[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] --> CCIE{CC-Link IE フィールド局番 チェック 1~120} CCIE -- 範囲外 --> ErrFB[o_uErrIdに FBエラーコードをセット o_bErrをON] CCIE -- 範囲内 --> Port{送信先機器 ポート番号 チェック 1~32767} Port -- 範囲外 --> ErrFB Port -- 範囲内 --> Size{送信データ サイズチェック 1~944ワード} Size -- 範囲外 --> ErrFB Size -- 範囲内 --> Socket[ソケット通信 送信処理] Socket --> Done{正常完了} Done -- No(異常完了) --> ErrMod[o_uModuleErrIdに 機器エラーコードをセット o_bModuleErrをON] Done -- Yes(正常完了) --> BOk[o_bOKをON] end BOk --> IBENOFF[i_bENをOFF] IBENOFF --> End([終了]) </pre>	

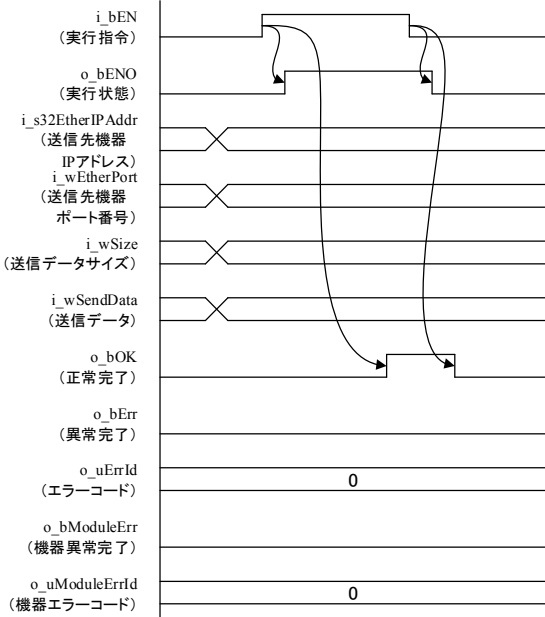
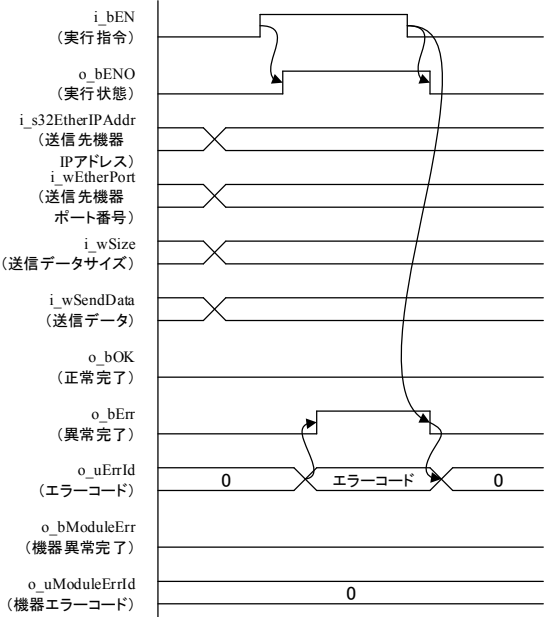
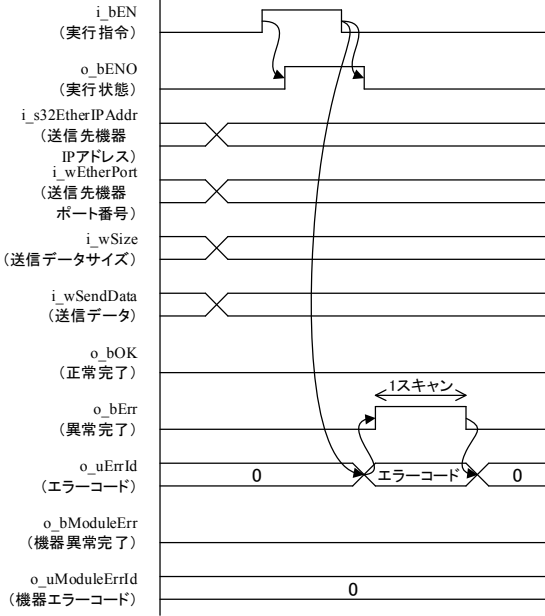
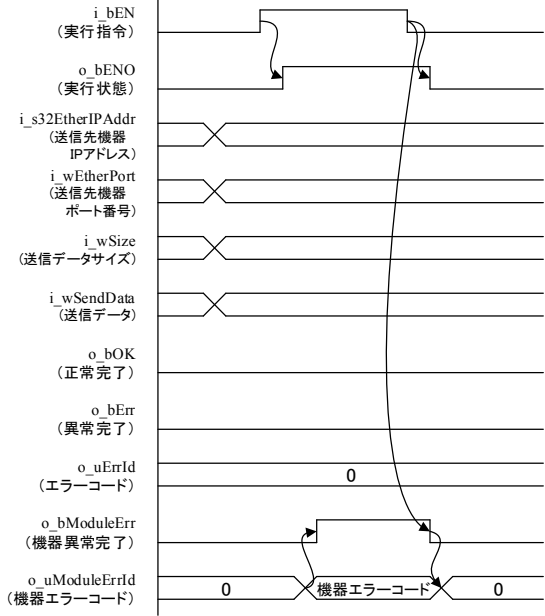


項目	内容
機能説明	<p>2) データ送信に成功(TCP の ACK を受信)した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。ACK の受信タイムアウト時間は約 10 秒です。</p> <p>3) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>4) i_wEtherPort(送信先機器ポート番号)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>5) i_wSize(送信データサイズ)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) 機器異常が発生した場合は, o_bModuleErr(機器異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uModuleErrId(機器エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>7) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) i_wEtherPort(送信先機器ポート番号)は1～32767の範囲で設定できます。32768以上のポート番号を指定することはできません。また、ウェルノウンポートは判別しておりません(指定可能です)。</p> <p>9) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>10) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>11) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>12) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) i_s32EtherIPAddr (送信先機器 IP アドレス) i_wEtherPort (送信先機器ポート番号) i_wSize (送信データサイズ) i_wSendData (送信データ)</p> <p>13) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>14) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>15) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型 (複数スキャン実行型)
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】 	【異常完了の場合】 
	【中止の場合】 	【機器異常完了の場合】 



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H10E	送信先機器ポート番号が 1～32767 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H10F	送信データサイズが 1～944 ワードの範囲外です。	
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザーズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。
送信先機器 IP アドレス	i_s32EtherIPAddr	文字列	—	ソケット通信による送信先機器の IP アドレス を指定します。 30 ワードのエリアが必要です。
送信先機器 ポート番号	i_wEtherPort	ワード [符号あり]	1~32767	ソケット通信による送信先機器の Ethernet ポート番号を指定します。 ※ウェルノウンポートを考慮してください。
送信データサイズ	i_wSize	ワード [符号あり]	1~944	ソケット通信による送信データのサイズ (ワード単位)を指定します。
送信データ	i_wSendData	ワード [符号あり]	—	送信データを設定します。 最大 944 ワードのデータを設定できます。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。



(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にソケット通信により, データを送信できたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
機器異常完了	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON の場合, 構成機器内で異常が発生した ことを示します。
機器エラーコード	o_uModuleErrId	ワード [符号なし]	0	構成機器内で発生したエラーに対する エラーコードを返します。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項，組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に，必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



2.11. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R (ソケット通信 受信)

名称

P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R

機能内容

項目	内容					
機能概要	ONVIF ネットワーク上の機器から受信したデータを読み出します。					
シンボル	<div><div><div>実行指令</div><div>マスタユニット装着 XYアドレス</div><div>CC-Link IE フィールド ネットワーク局番</div></div><div><div>P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R</div><div><div>B : i_bEN</div><div>W : i_wStartIONo</div><div>W : i_wStationNo</div></div></div><div><div>o_bENO : B</div><div>o_bOK : B</div><div>o_bErr : B</div><div>o_uErrId : UW</div><div>o_s32EtherIPAddr : S</div><div>o_wSize : W</div><div>o_wRecvData : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div><div>送信元機器 IPアドレス</div><div>受信データサイズ</div><div>受信データ</div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-NV1G				
	対象CC-Link IE フィールド ネットワークシステム	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>RJ71GF11-T2</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2
	シリーズ	モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2					
対象 CPU	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
シリーズ	モデル					
MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU					



項目	内容	
対象機器	GX Works3	シリーズ
		モデル
		MELSEC iQ-R シリーズ
		Version 1.015R 以降
記述言語	ラダー	
ステップ数	649 Step (MELSEC iQ-R シリーズ R08CPU の場合) ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUモデルや、入出力定義によって異なります。	
機能説明	<p>1) i_bEN(実行指令)の ON にて、ONVIF ネットワークの機器から受信しているデータ内容を読み出します。受信しているデータがない場合は、データを受信するまで待機し、データの受信完了後に読み出しを開始します。</p> <pre> graph TD Start([開始]) --> i_bEN_ON[i_bENをON] i_bEN_ON --> RX_RY_RWr_RWw[RX, RY, RWr, RWw アドレス取得] RX_RY_RWr_RWw --> CC_Link_IE{CC-Link IE フィールド局番 チェック} CC_Link_IE -- 範囲外 --> o_uErrIdl[o_uErrIdlに FBエラーコードをセット] CC_Link_IE -- 1～120 --> Socket[ソケット通信 受信処理] Socket --> Recv_Check{受信完了 チェック} Recv_Check -- No --> Socket Recv_Check -- Yes --> o_s32EtherIPAddr[o_s32EtherIPAddrに 送信元IPアドレスをセット] o_s32EtherIPAddr --> o_wSize[o_wSizeに 受信データサイズをセット] o_wSize --> o_wRecvData[o_wRecvDataに 受信データをセット] o_wRecvData --> o_bOK_ON[o_bOKをON] o_uErrIdl --> o_bErr_ON[o_bErrをON] o_bErr_ON --> i_bEN_OFF[i_bENをOFF] o_bOK_ON --> i_bEN_OFF i_bEN_OFF --> End([終了]) </pre>	



項目	内容
機能説明	<p>2) 受信データの読み出しに成功した場合は, o_bOK(正常完了)が ON します。 o_wRecvData(受信データ), o_s32EtherIPAddr(送信元機器 IP アドレス), o_wSize(受信データサイズ)にデータが格納されます。</p> <p>3) o_bOK(正常完了)が ON になった後, 次のデータを受信するためには, i_bEN(実行指令)を OFF にする必要があります。</p> <p>4) データの読み出しが完了するまでの間は, o_bENO(実行状態)が ON した状態のまま, o_bOK(正常完了)が ON しません。</p> <p>5) i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)が正しく設定されていない場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p> <p>6) 上記以外のエラーが発生した場合は, o_bErr(異常完了)を ON し, FB の処理を中止します。 o_uErrId(エラーコード)にエラーコードが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型



項目	内容
制約事項、 注意事項 等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理を含んでいません。 エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に応じて、別途作成してください。</p> <p>2) 割り込みプログラム内で、本 FB を使用することはできません。</p> <p>3) 本 FB は、i_bEN(実行指令)の ON から o_bOK(正常完了)が ON するまで数スキャン必要です。</p> <p>4) i_bEN(実行指令)を ON する場合は、o_bOK(正常完了)および o_bErr(異常完了)が OFF していることを確認してください。</p> <p>5) 本 FB は、インデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。</p> <p>6) 本 FB は、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) ネットワークパラメータ設定を項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>8) グローバルラベルの設定を項「1.5. グローバルラベルの設定」にしたがっておこなってください。</p> <p>9) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。 インタロックプログラムに関しては、項「1.6.1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>10) 本 FB は、トランジェント伝送を使用しています。他のトランジェント伝送を使用する FB の動作中に i_bEN(実行指令)を ON にしないでください。</p> <p>11) i_bEN(実行指令)の ON 中は、以下の値を変更しないでください。 i_wStartIONo (マスタユニット装着 XY アドレス) i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) 本 FB は、内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しています。そのため、本 FB を複数使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>12) 本 FB は、1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB にて制御する場合は、「付録 3. 2 枚のマスタ・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法」を参照してください。</p> <p>13) ラベルコメントは、GX Works3 の表示可能文字数制限により、省略形で記載していることがあります。</p>
FB 動作	パルス実行型（複数スキャン実行型）
使用例	「付録 1. FB ライブラリ使用例」を参照してください。



項目	内容	
入出力 信号の 動き	【正常完了の場合】	【異常完了の場合】
	【中止の場合】	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo (CC-Link IE フィールドネットワーク局番) の設定値
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。 ※ 1 スキャンのみ出力	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



使用ラベル

(1) 入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON : FB を実行する OFF : FB を実行しない
マスタユニット装着 XY アドレス	i_wStartIONo	ワード [符号あり]	(※1)	CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル ユニットが装着されている先頭 XY アドレス を 16 進数で指定します。 (例: X10 の場合, H10 を入力してください)
CC-Link IE フィールドネット ワーク局番	i_wStationNo	ワード [符号あり]	1~120	ゲートウェイユニットの局番を指定します。 占有局数を含んだ局番が 1~120 になるよう に設定してください。

※1 対象の CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2) 出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON : FB 動作実行中 OFF : FB 動作停止中
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	ON の場合, 正常にソケット通信で受信した データを読み出しできたことを示します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	ON の場合, FB 内でエラーが発生したことを 示します。
エラーコード	o_uErrId	ワード [符号なし]	0	FB 内で発生したエラーに対するエラーコード を返します。
送信元機器 IP アドレス	o_s32EtherIPAddr	文字列	0	データ送信元機器の IP アドレスが格納され ます。30 ワードのエリアが必要です。
受信データサイズ	o_wSize	ワード [符号あり]	0	受信したデータのサイズ(ワード単位)が 格納されます。
受信データ	o_wRecvData	ワード [符号あり]	0	受信したデータを格納します。 最大で 944 ワードのエリアが必要です。



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2017/05/12	新規作成

お願い

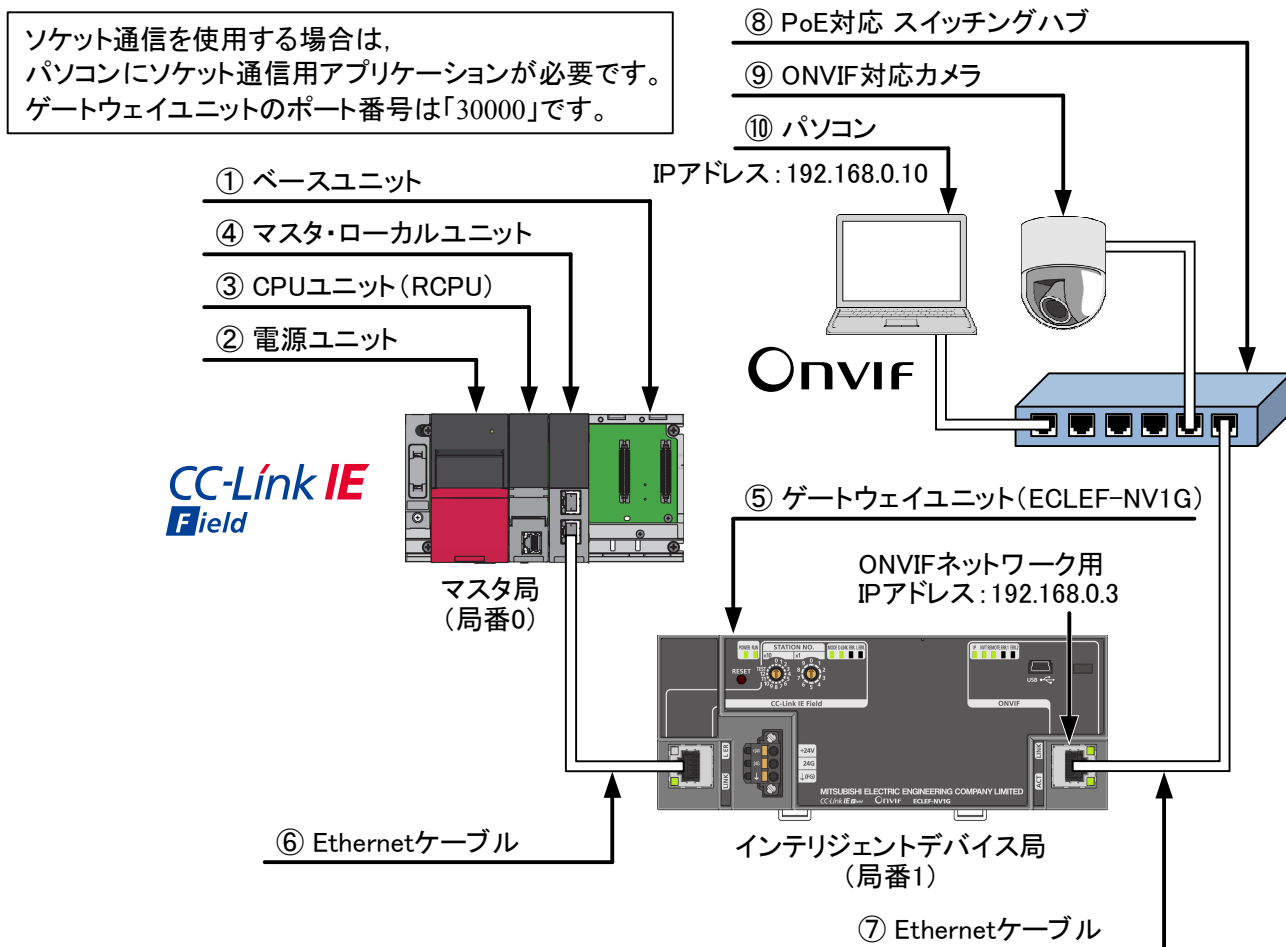
本章はファンクションブロックの機能を説明しています。

ユニットやシーケンサ CPU についての使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載していません。ご使用の前に, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みください。



付録 1. FB ライブラリ使用例

付録 1.1. システム構成例



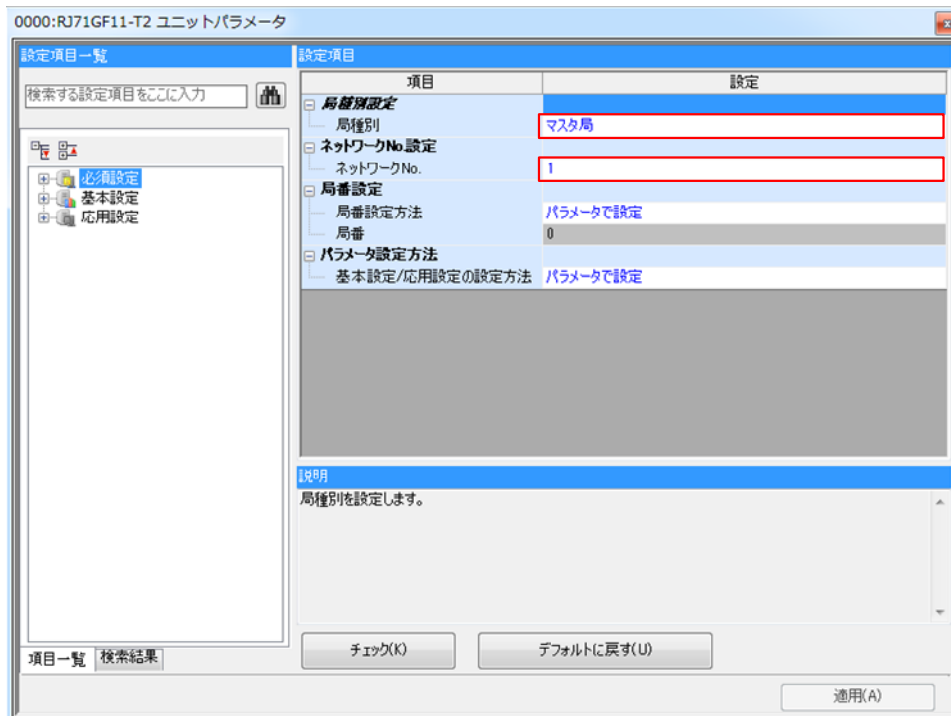
No.	機器名	説明				
①	CC-Link IE フィールド マスタ局	ベースユニット				
②		電源ユニット				
③		CPU ユニット <table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC iQ-R シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル RCPU</td></tr></table>	シリーズ	モデル	MELSEC iQ-R シリーズ	ユニバーサルモデル RCPU
シリーズ		モデル				
MELSEC iQ-R シリーズ		ユニバーサルモデル RCPU				
④	CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニット					
⑤	ゲートウェイユニット					
⑥	Ethernet ケーブル	CC-Link IE フィールドネットワーク用 Ethernet ケーブル				
⑦	Ethernet ケーブル	カテゴリ 5e 以上の Ethernet ケーブル				
⑧	PoE 対応 スイッチングハブ	Power over Ethernet 対応 スwitchingハブユニット ※ゲートウェイユニットは非 PoE ポートに接続してください。				
⑨	ONVIF 対応カメラ	ONVIF 規格準拠ネットワークカメラ				
⑩	パソコン	Windows パソコン				



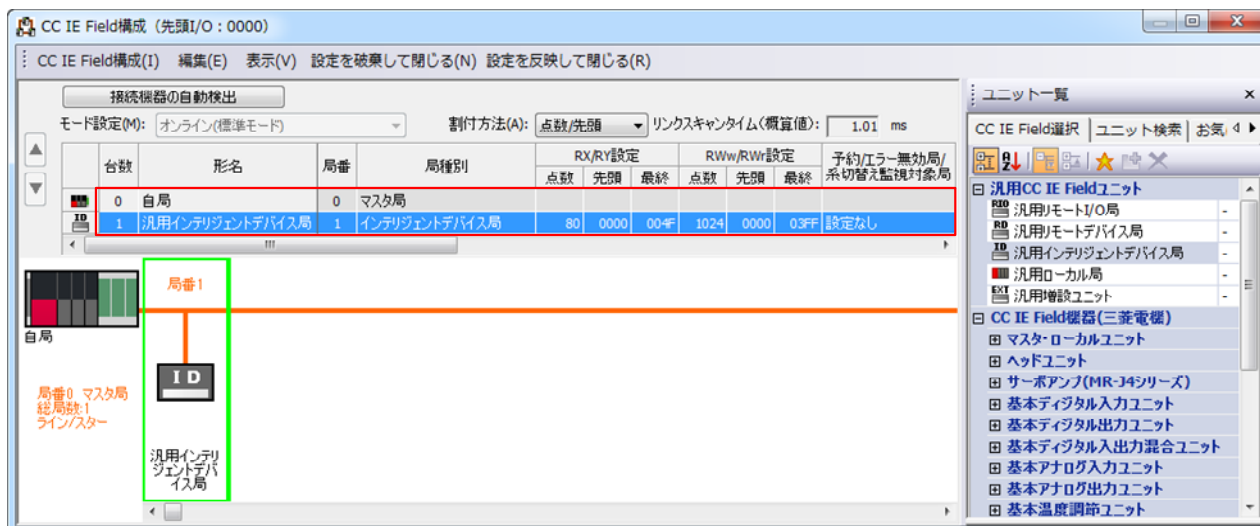
付録 1.2. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定

本項の例では、必須設定、ネットワーク構成設定、リンクリフレッシュ設定を以下のように割付けます。

(a) 必須設定



(b) ネットワーク構成設定



(c) リンクリフレッシュ

No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	X	80	01000	0104F
2	RY	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	Y	80	01000	0104F
3	RWr	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	00000	003FF
4	RWw	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	00400	007FF
5					↔					

付録 1.3. グローバルラベルの設定

(1) 共通設定

クラス	ラベル名	データ型	デバイス
VAR_GLOBAL	M_RX	ビット	X1000Z9
VAR_GLOBAL	M_RY	ビット	Y1000Z8
VAR_GLOBAL	M_RWw	ワード[符号付き]	W400Z7
VAR_GLOBAL	M_RWr	ワード[符号付き]	W0Z6

Global [グローバルラベル設定]									
<フィルタ>		簡易表示(Y) <<		表示設定(S)		チェック(K)			
ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント			
1 M_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1 000Z9			RXリフレッシュデバイス			
2 M_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 000Z8			RYリフレッシュデバイス			
3 M_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W400Z7			RWwリフレッシュデバイス			
4 M_RWr	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0Z6			RWrリフレッシュデバイス			
5									



付録 1.4. 使用デバイス一覧

(1) 外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
M100	P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R	カメラ位置移動要求
M101	P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R	カメラ生存チェック要求
M102	P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R	カメラ位置取得要求
M103	P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R	イベント送信要求
M104		イベント文字列セット
M105	P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R	イベント受信要求
M106	P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R	CC-Link IE エラー履歴取得要求
M107	P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R	ONVIF エラー履歴取得要求
M108	P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R	ユニットエラー履歴取得要求
M109	P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R	イベントハンドリング履歴取得要求
M110	P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R	ソケット通信 送信要求
M111	P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R	ソケット通信 受信要求

(2) 外部デバイス(データ)

デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
D2000～D2031	P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R	送信データ(ソース)
D2032～D2063		送信データ(データ 1)
D2064～D2095		送信データ(データ 2)
D2096～D2127		送信データ(データ 3)
D3000～D3943	P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R	ソケット通信送信データ



(3) 外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
M200	P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R	FB 実行中
M201		正常完了
M202		異常完了
M203		機器異常完了
M204		カメラ Busy 状態
D200		エラーコード
D201		機器エラーコード
M300	P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R	FB 実行中
M301		正常完了
M302		異常完了
M303		機器異常完了
D300		エラーコード
D301		機器エラーコード
M400	P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R	FB 実行中
M401		正常完了
M402		異常完了
M403		機器異常完了
D400		カメラ位置番号
D401		エラーコード
D402		機器エラーコード
M500	P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R	FB 実行中
M501		正常完了
M502		異常完了
D500		エラーコード



デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
M600	P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R	FB 実行中
M601		正常完了
M602		異常完了
D600		エラーコード
D4000～D4002		日時データ
D4100～D4131		受信データ(ソース)
D4132～D4163		受信データ(データ 1)
D4164～D4195		受信データ(データ 2)
D4196～D4227		受信データ(データ 3)
M700	P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R	FB 実行中
M701		正常完了
M702		異常完了
D700		エラーコード
D4500～D4579		CC-Link IE フィールドエラー履歴読み出しデータ
M800	P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R	FB 実行中
M801		正常完了
M802		異常完了
D800		エラーコード
D5000～D5089		ONVIF エラー履歴読み出しデータ
M900	P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R	FB 実行中
M901		正常完了
M902		異常完了
D900		エラーコード
D5500～D5579		ユニットエラー履歴読み出しデータ
M1000	P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEventHist_R	FB 実行中
M1001		正常完了
M1002		異常完了
D1000		エラーコード
D2500～D2659		イベントハンドリング履歴読み出しデータ



デバイス	FB 名称	用途（ON 時の内容）
M1100	P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R	FB 実行中
M1101		正常完了
M1102		異常完了
M1103		機器異常完了
D1100		エラーコード
D1101		機器エラーコード
M1200	P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R	FB 実行中
M1201		正常完了
M1202		異常完了
D1200		エラーコード
D1201		受信データサイズ
D1202～D1231		送信元機器 IP アドレス
D6000～D6943		受信データ

(4) 共通設定

入出力項目	値	説明
マスタユニット装着 XY アドレス	H0	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている 先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。
CC-Link IE フィールド ネットワーク局番	K1	接続するゲートウェイユニットの局番を入力します。



付録 1.5. プログラム

すべての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。設定しない場合、FB は正しく動作できません。
インタロックプログラムに関しては、項「1.6. インタロックプログラムの作成」を参照してください。

付録 1.5.1. P+MEE-ECLEF-NV1G_AbsoluteMove_R (カメラ位置移動)

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
カメラ番号	K1
カメラ位置番号	K2
パンチルトスピード	K10
ズームスピード	K10

M100 を ON にすると、上記の条件にてカメラ位置移動をおこなうプログラムの例を示します。

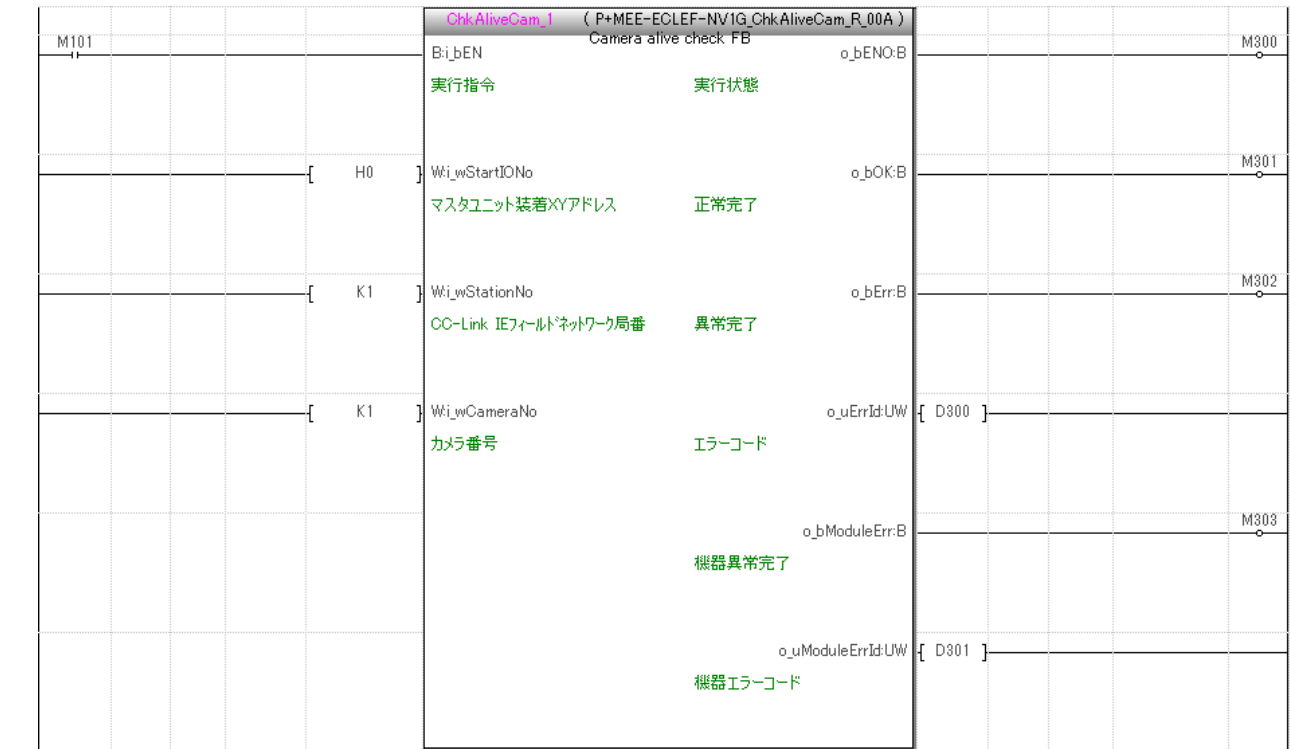


付録 1.5.2. P+MEE-ECLEF-NV1G_ChkAliveCam_R (カメラ生存チェック)

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
カメラ番号	K1

M101 を ON にすると、上記の条件にてカメラ生存チェックをおこなうプログラムの例を示します。



付録 1.5.3. P+MEE-ECLEF-NV1G_GetPosCam_R（カメラ位置取得）

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
カメラ番号	K1

M102 を ON にすると、上記の条件にてカメラ位置取得をおこなうプログラムの例を示します。



付録 1.5.4. P+MEE-ECLEF-NV1G_SendEvent_R (イベント送信)

本項の例では、入力ラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
アクセスコード	H0B

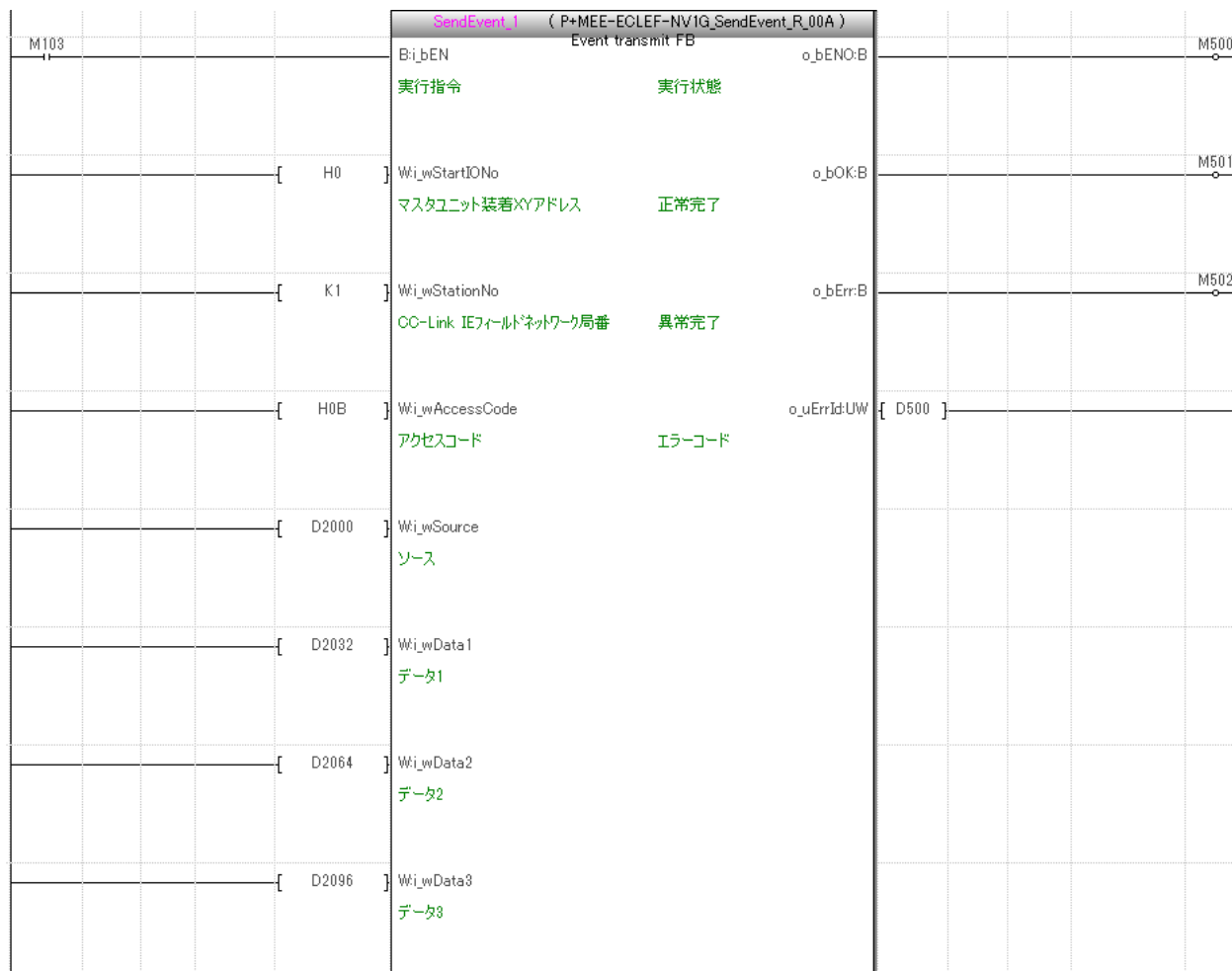
M104 を ON にすると、以下の送信データの設定をおこないます。

デバイス	内容	データ型	データサイズ	設定値
D2000～D2031	ソース	ワード	32 ワード	“INTRUSION”
D2032～D2063	データ 1	ワード	32 ワード	“FLOOR_3”
D2064～D2095	データ 2	ワード	32 ワード	“AREA_2”
D2096～D2127	データ 3	ワード	32 ワード	“SENSOR_5”

Address	Operation	Comment	Value
M104	\$MOV P	"INTRUSION"	D2000
	\$MOV P	"FLOOR_3"	D2032
	\$MOV P	"AREA_2"	D2064
	\$MOV P	"SENSOR_5"	D2096



M103 を ON にすると, 前ページの条件にてイベント送信をおこなうプログラムの例を示します。

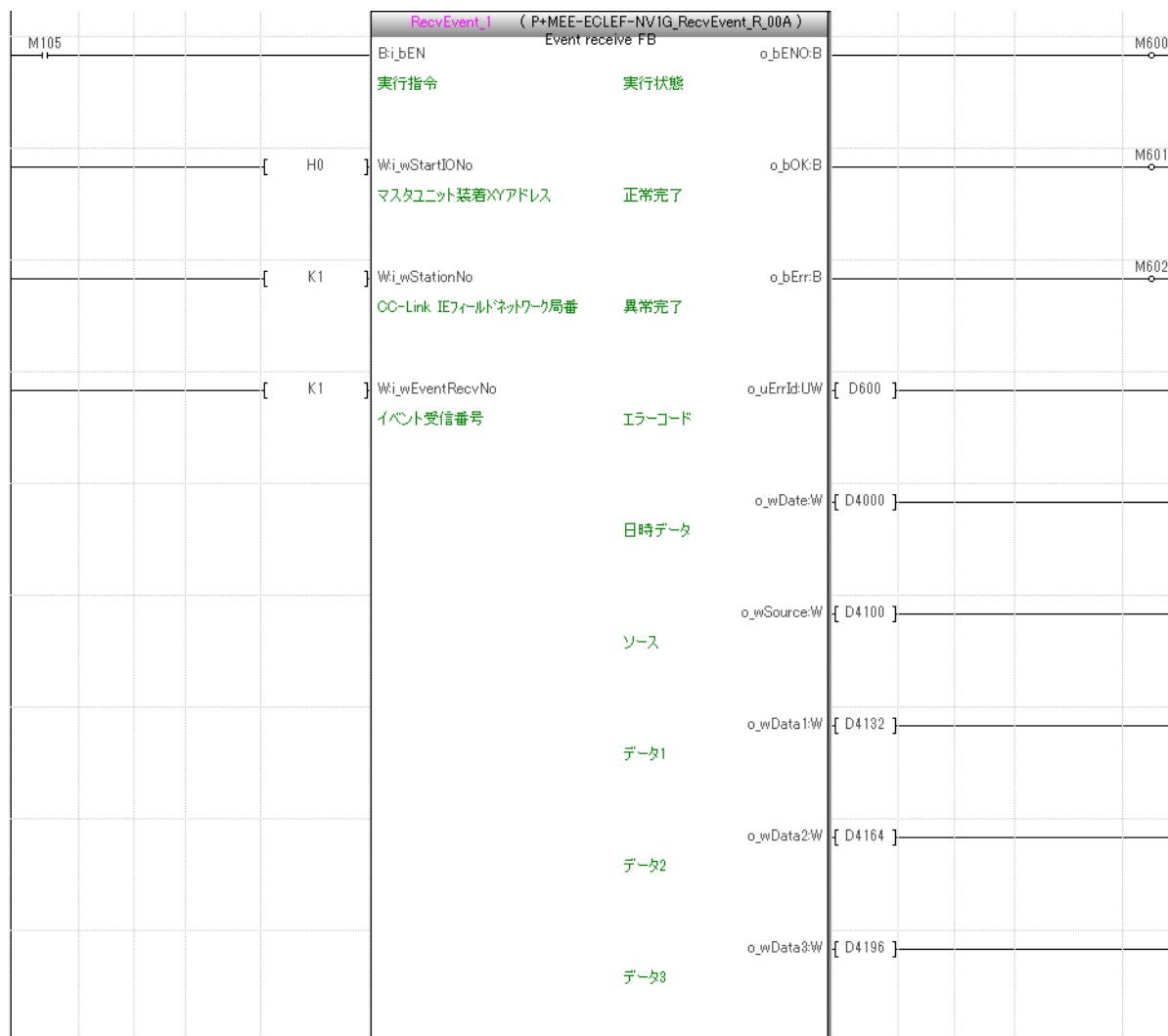


付録 1.5.5. P+MEE-ECLEF-NV1G_RecvEvent_R（イベント受信）

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
イベント受信番号	K1

M105 を ON にすると、上記の条件にて受信したイベント内容の読み出しをおこなうプログラムの例を示します。



受信データ内容

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D4000	発生日時(年月)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 西暦の下 2 桁</div> <div>下位 8bit: 月</div> </div>	BCD 形式にて格納 されます。 日時を取得するまでは、 すべて HFFFF です。
D4001	発生日時(日時)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 日</div> <div>下位 8bit: 時(24 時間計)</div> </div>	
D4002	発生日時(分秒)	ワード	イベントを受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 分</div> <div>下位 8bit: 秒</div> </div>	
D4100～D4131	ソース	ワード	Source のデータ文字列	32 ワード(64Byte)
D4132～D4163	データ 1	ワード	Data1 のデータ文字列	32 ワード(64Byte)
D4164～D4195	データ 2	ワード	Data2 のデータ文字列	32 ワード(64Byte)
D4196～D4227	データ 3	ワード	Data3 のデータ文字列	32 ワード(64Byte)



付録 1.5.6. P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R (CC-Link IE エラー履歴取得)

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
エラー履歴読み出し開始位置	K1
エラー履歴読み出し点数	K10

M106をONにすると、上記の条件にてCC-Link IE フィールドのエラー履歴の取得をおこなうプログラムの例を示します。

				CCErrHist_1 (P+MEE-ECLEF-NV1G_CCIEErrHist_R_00A)							
M106				Bi_bEN	Get CC-Link IEF error history FB		o_bENO:B				M700
				実行指令	実行状態						
			[H0]	Wj_wStartIONo			o_bOK:B				M701
				マスタユニット装着XYアドレス	正常完了						
			[K1]	Wj_wStationNo			o_bErr:B				M702
				CC-Link IEフィールドネットワーク局番	異常完了						
			[K1]	Wj_wErrHistStart			o_uErrId:UW	[D700]			
				エラー履歴読み出し開始位置	エラーコード						
			[K10]	Wj_wErrHistCount			o_wReadData:W	[D4500]			
				エラー履歴読み出し点数	エラー履歴読み出しデータ						

(1) エラー履歴読み出しデータ (o_wReadData)

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D4500	発生日時(年月)	ワード	エラーが発生した日時 $\left(\begin{array}{l} \text{上位 8bit: 西暦の下 2 桁} \\ \text{下位 8bit: 月} \end{array} \right)$	BCD 形式にて格納されます。 エラーが発生していない場合、および日時を取得していない場合は、すべて HFFFF です。
D4501	発生日時(日時)	ワード	エラーが発生した日時 $\left(\begin{array}{l} \text{上位 8bit: 日} \\ \text{下位 8bit: 時(24 時間計)} \end{array} \right)$	
D4502	発生日時(分秒)	ワード	エラーが発生した日時 $\left(\begin{array}{l} \text{上位 8bit: 分} \\ \text{下位 8bit: 秒} \end{array} \right)$	
D4503	稼働時間(日)	ワード	エラーが発生するまでの時間 $\left(\begin{array}{l} \text{起動から稼働した日数} \end{array} \right)$	BCD 形式にて格納されます。 エラーが発生していない場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが起動した時点からの経過時間です。
D4504	稼働時間(時分)	ワード	エラーが発生するまでの時間 $\left(\begin{array}{l} \text{上位 8bit: 時} \\ \text{下位 8bit: 分} \end{array} \right)$	
D4505	稼働時間(秒)	ワード	エラーが発生するまでの時間 $\left(\begin{array}{l} \text{上位 8bit: 秒} \\ \text{下位 8bit: 未使用} \end{array} \right)$	
D4506	エラー発生順	ワード	エラーが発生した順序	0～65535
D4507	エラーコード	ワード	発生したエラーに対するエラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル (詳細編)を参照してください。

※ エラー履歴エリア 1 の内容のみ記載してあります。

エラー履歴エリア 2 以降は、エラー履歴エリア 1 の後より繰り返し保存されます。



(2) エラー履歴エリア

本項の例では、エラー履歴エリア数を最大 50 点のうち 10 点使用しています。

デバイス	内容
D4500～D4507	エラー履歴エリア 1
D4508～D4515	エラー履歴エリア 2
D4516～D4523	エラー履歴エリア 3
⋮	⋮
D4572～D4579	エラー履歴エリア 10



付録 1.5.7. P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R (ONVIF エラー履歴取得)

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
エラー履歴読み出し開始位置	K1
エラー履歴読み出し点数	K10

M107を ON にすると、上記の条件にて ONVIF ネットワークのエラー履歴の取得をおこなうプログラムの例を示します。

				ONVIFErrHist_I (P+MEE-ECLEF-NV1G_ONVIFErrHist_R_00A)							
M107				Bi_bEN	Get ONVIF error history FB			o_bENO:B			M800
				実行指令	実行状態						
			[H0]	Wi_wStartIONo				o_bOK:B			M801
				マスタユニット装着XYアドレス	正常完了						
			[K1]	Wi_wStationNo				o_bErr:B			M802
				CC-Link IEフィールドネットワーク局番	異常完了						
			[K1]	Wi_wErrHistStart				o_uErrId:UW	[D800]		
				エラー履歴読み出し開始位置	エラーコード						
			[K10]	Wi_wErrHistCount				o_wReadData:W	[D5000]		
				エラー履歴読み出し点数	エラー履歴読み出しデータ						

(1) エラー履歴読み出しデータ (o_wReadData)

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D5000	発生日時(年月)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月）	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合、および日時を 取得していない場合は、 すべて HFFFF です。
D5001	発生日時(日時)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計)）	
D5002	発生日時(分秒)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒）	
D5003	稼働時間(日)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （起動から稼働した日数）	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが 起動した時点からの 経過時間です。
D5004	稼働時間(時分)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （上位 8bit: 時 下位 8bit: 分）	
D5005	稼働時間(秒)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用）	
D5006	エラー発生順	ワード	エラーが発生した順序	0～65535
D5007	エラーコード	ワード	発生したエラーに対する エラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールド ネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル （詳細編）を参照して ください。
D5008	カメラ番号	ワード	0, エラーが発生したカメラの カメラ番号(1～16)	カメラに関与しない エラーの場合は 0 と なります。

※ エラー履歴エリア 1 の内容のみ記載してあります。

エラー履歴エリア 2 以降は、エラー履歴エリア 1 の後より繰り返し保存されます。



(2) エラー履歴エリア

本項の例では、エラー履歴エリア数を最大 50 点のうち 10 点使用しています。

デバイス	内容
D5000～D5008	エラー履歴エリア 1
D5009～D5017	エラー履歴エリア 2
D5018～D5026	エラー履歴エリア 3
⋮	⋮
D5081～D5089	エラー履歴エリア 10



付録 1.5.8. P+MEE-ECLEF-NV1G_UnitErrHist_R（ユニットエラー履歴取得）

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
エラー履歴読み出し開始位置	K1
エラー履歴読み出し点数	K10

M108 を ON にすると、上記の条件にてユニットのエラー履歴の取得をおこなうプログラムの例を示します。



(1) エラー履歴読み出しデータ (o_wReadData)

エラー履歴データ内容がエラー履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D5500	発生日時(年月)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 西暦の下 2 桁 下位 8bit: 月）	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合、および日時を 取得していない場合は、 すべて HFFFF です。
D5501	発生日時(日時)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 日 下位 8bit: 時(24 時間計)）	
D5502	発生日時(分秒)	ワード	エラーが発生した日時 （上位 8bit: 分 下位 8bit: 秒）	
D5503	稼働時間(日)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （起動から稼働した日数）	BCD 形式にて格納 されます。 エラーが発生していない 場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが 起動した時点からの 経過時間です。
D5504	稼働時間(時分)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （上位 8bit: 時 下位 8bit: 分）	
D5505	稼働時間(秒)	ワード	エラーが発生するまでの時間 （上位 8bit: 秒 下位 8bit: 未使用）	
D5506	エラー発生順	ワード	エラーが発生した順序	0～65535
D5507	エラーコード	ワード	発生したエラーに対する エラーコード	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールド ネットワーク／ ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット ユーザーズマニュアル （詳細編）を参照して ください。

※ エラー履歴エリア 1 の内容のみ記載してあります。

エラー履歴エリア 2 以降は、エラー履歴エリア 1 の後より繰り返し保存されます。



(2) エラー履歴エリア

本項の例では、エラー履歴エリア数を最大 50 点のうち 10 点使用しています。

デバイス	内容
D5500～D5507	エラー履歴エリア 1
D5508～D5515	エラー履歴エリア 2
D5516～D5523	エラー履歴エリア 3
⋮	⋮
D5572～D5579	エラー履歴エリア 10

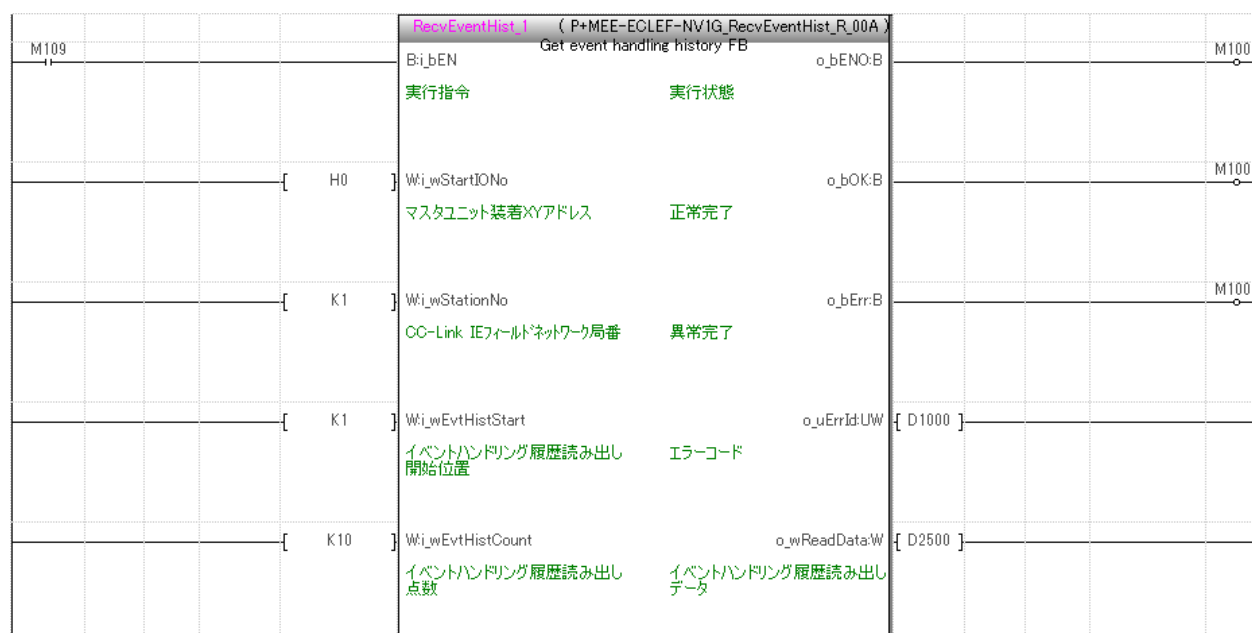


付録 1.5.9. P+MEE-ECLEF-NV1G RecvEventHist R (イベントハンドリング履歴取得)

本項の例では、入力ラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
イベントハンドリング履歴読み出し開始位置	K1
イベントハンドリング履歴読み出し点数	K10

M109 を ON にすると、上記の条件にてイベントハンドリング履歴の取得をおこなうプログラムの例を示します。



(1) イベントハンドリング履歴読み出しデータ (o_wReadData)

イベントハンドリング履歴データ内容がイベントハンドリング履歴読み出し点数分、デバイスに読み込まれます。

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D2500	発生日時(年月)	ワード	イベントを送信または受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 西暦の下 2 桁</div> <div>下位 8bit: 月</div> </div>	BCD 形式にて格納されます。 イベントが発生していない場合、および日時を取得していない場合は、すべて HFFFF です。
D2501	発生日時(日時)	ワード	イベントを送信または受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 日</div> <div>下位 8bit: 時(24 時間計)</div> </div>	
D2502	発生日時(分秒)	ワード	イベントを送信または受信した日時 <div> <div>上位 8bit: 分</div> <div>下位 8bit: 秒</div> </div>	
D2503	稼働時間(日)	ワード	イベントを送信または受信するまでの時間 <div> <div>起動から稼働した日数</div> </div>	BCD 形式にて格納されます。 イベントが発生していない場合は、すべて HFFFF です。 ゲートウェイユニットが起動した時点からの経過時間です。
D2504	稼働時間(時分)	ワード	イベントを送信または受信するまでの時間 <div> <div>上位 8bit: 時</div> <div>下位 8bit: 分</div> </div>	
D2505	稼働時間(秒)	ワード	イベントを送信または受信するまでの時間 <div> <div>上位 8bit: 秒</div> <div>下位 8bit: 未使用</div> </div>	
D2506	イベント発生順	ワード	イベントを送信または受信した順序	0~65535
D2507	送受信区分	ワード	ゲートウェイユニットが受信または送信したかの区分 H0000: イベント受信 H0001: イベント送信	—



デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D2508	イベント項目	ワード	H0000:Subscribe(購読開始) H0001:Renew(更新) H0002:Unsubscribe(購読終了) H0003:受信項目 H0004:送信項目	H0003 および H0004 の場合、データ内容(D2513)にデータ内容コード一覧の値が格納されます。
D2509	送信元 IP アドレス	ダブルワード	送信元機器の IP アドレス 例: 192.168.0.1 の場合 H0100A8C0	イベント項目(D2508)が H0000～H0003 の場合のみ有効です。
D2511	カメラ番号	ワード	対象のカメラ番号	イベント項目(D2508)が H0000～H0002 の場合のみ有効です。
D2512	イベント番号	ワード	イベント番号(1～16)	イベント項目(D2508)が H0000～H0003 の場合のみ有効です。
D2513	データ内容	ワード	項「2.9(2)③ データ内容コード一覧」を参照してください	イベント項目(D2508)が H0003 または H0004 の場合のみ有効です。
D2514	予約領域	ワード	使用できません	—
D2515	予約領域	ワード	使用できません	—

※ イベントハンドリング履歴エリア 1 の内容のみ記載してあります。

イベントハンドリング履歴エリア 2 以降は、イベントハンドリング履歴エリア 1 の後より繰り返し保存されます。

(2) イベントハンドリング履歴エリア

本項の例では、イベントハンドリング履歴エリア数を最大 50 点のうち 10 点使用しています。

デバイス	内容
D2500～D2515	イベントハンドリング履歴エリア 1
D2516～D2531	イベントハンドリング履歴エリア 2
D2532～D2547	イベントハンドリング履歴エリア 3
⋮	⋮
D2644～D2659	イベントハンドリング履歴エリア 10



付録 1.5.10. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R（ソケット通信 送信）

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1
送信先機器 IP アドレス	“192.168.0.10”
送信先機器ポート番号	K30000
送信データサイズ	K944
送信データ	D3000～D3943

M110 を ON にすると、上記の条件にてソケット通信によるデータ送信をおこなうプログラムの例を示します。

				EtherSend 1 (P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherSend_R_00A)							
M110				Bi_bEN	Socket communication transmit FB	o_bENO:B					M1100
				実行指令	実行状態						
			[H0]	Wi_wStartIONo		o_bOK:B					M1101
				マスタユニット装着XYアドレス	正常完了						
			[K1]	Wi_wStationNo		o_bErr:B					M1102
				CC-Link IEフィールドネットワーク局番	異常完了						
			[" 192.168.0.10"]	Si_s32EtherIPAddr		o_uErrId:UW	[D1100]				
				送信先機器IPアドレス	エラーコード						
			[K30000]	Wi_wEtherPort		o_bModuleErr:B					M1103
				送信先機器ポート番号	機器異常完了						
			[K944]	Wi_wSize		o_uModuleErrId:UW	[D1101]				
				送信データサイズ	機器エラーコード						
			[D3000]	Wi_wSendData							
				送信データ							



付録 1.5.11. P+MEE-ECLEF-NV1G_EtherRecv_R（ソケット通信 受信）

本項の例では、入カラベルに以下の値を設定します。

入出力項目	設定値
マスタユニット装着 XY アドレス	H0
CC-Link IE フィールドネットワーク局番	K1

M111 を ON にすると、上記の条件にてソケット通信により受信したデータの読み出しをおこなうプログラムの例を示します。



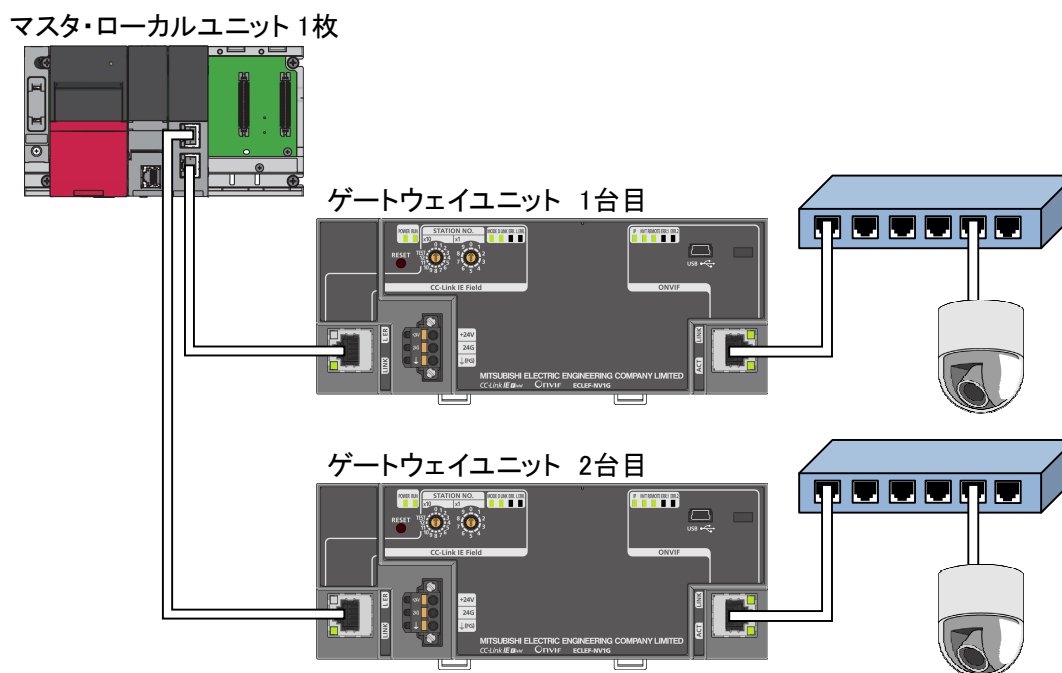
受信データ内容

デバイス	データ内容	データ型	説明	備考
D1201	受信データサイズ	ワード	受信したデータのサイズ (ワード単位)が格納されます。	—
D1202～D1231	送信元機器 IP アドレス	文字列	データ送信元機器の IP アドレス (IPv4)が格納されます。	30 ワード分必要です。
D6000～D6943	受信データ	ワード	受信したデータが格納されます。	最大 944 ワード必要 です。



付録 2. 1 枚のマス・ローカルユニットに接続された 2 台のゲートウェイユニットに FB を使用する方法

CC-Link IE フィールドネットワーク マス・ローカルユニット 1 枚に 2 台以上のゲートウェイユニットを接続する場合について、説明します。



2 台以上のゲートウェイユニットで FB を使用するためには、それぞれのゲートウェイユニットで使用する FB で扱う「グローバルラベル」、「デバイス」は、重複しないように設定する必要があります。

そのため、FB 内部のデバイスを置き換える必要があり、以下の 5 ステップの作業が必要です。

- 1) 必須設定
- 2) 基本設定
- 3) グローバルラベルの設定
- 4) ライブラリのコピー（複製）
- 5) デバイスの置き換え

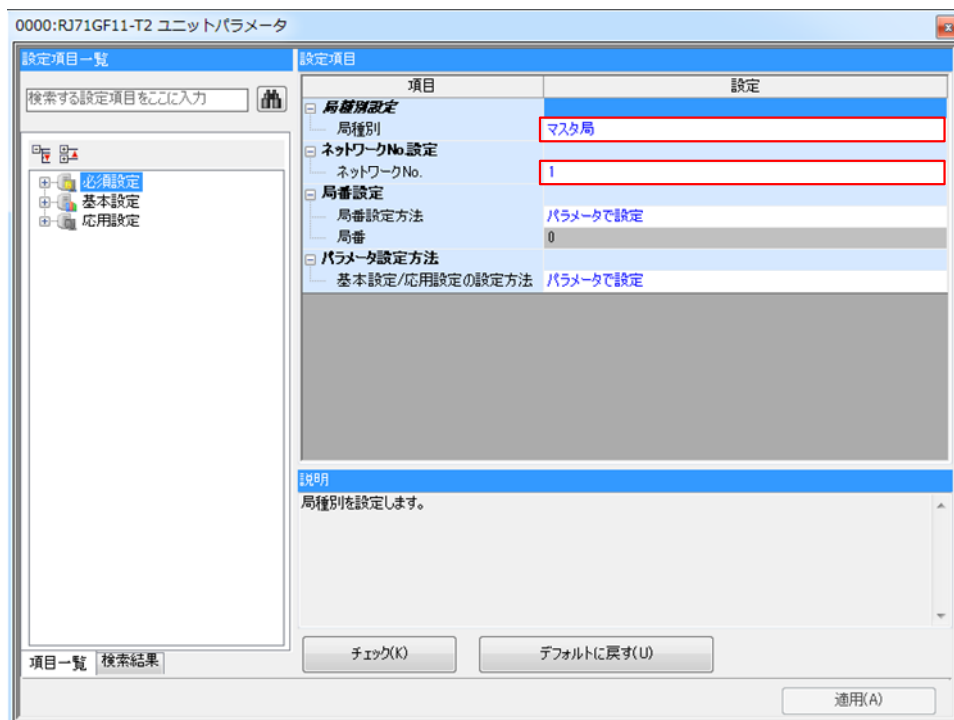
本項の例では、CC-Link IE フィールドネットワークマス・ローカルユニット 1 枚に 2 台のゲートウェイユニットを接続する場合について、説明します。



付録 2.1. 必須設定

以下のように必須設定を設定してください。

項目	内容
局種別	「マスタ局」を選択します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク No.を設定します。 本項の例では、「1」を設定します。



付録 2.2. 基本設定

①ネットワーク構成設定

項目	内容
局番	マスタ局に接続するスレーブ局の局番を設定します。 本項の例では、「2」を設定します。
局種別	マスタ局に接続するスレーブ局の局種別を設定します。 本項の例では、「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/RV 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RX/RV の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「80 点」、先頭に「0050」を設定します。(※1)
RWw/RWr 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RWw/RWr の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「1024 点」、先頭に「0400」を設定します。(※1)
予約/エラー無効局/ 系切替え監視対象局	本項の例では、「設定なし」を設定します。

※1 各デバイス設定の先頭は、項「付録 2.3. グローバルラベルの設定」の「M_RX」、「M_RV」、「M_RWw」、「M_RWr」に合わせる必要があります。



②リンクリフレッシュ設定

項目	内容	設定値
リモート入力(RX)	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RX」 リンク側先頭 :「00050」 リンク側最終 :「0009F」 CPU 側デバイス名 :「X」 CPU 側先頭 :「01050」
リモート出力(RY)	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RY」 リンク側先頭 :「00050」 リンク側最終 :「0009F」 CPU 側デバイス名 :「Y」 CPU 側先頭 :「01050」
リモートレジスタ(RW _r)	RW _r デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _r 」 リンク側先頭 :「00400」 リンク側最終 :「007FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「00800」
リモートレジスタ(RW _w)	RW _w デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _w 」 リンク側先頭 :「00400」 リンク側最終 :「007FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「00C00」

No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	⚙️	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	⚙️	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	80	00000	0004F	⚙️	指定デバイス	X	80	01000	0104F
2	RY	80	00000	0004F	⚙️	指定デバイス	Y	80	01000	0104F
3	RW _r	1024	00000	003FF	⚙️	指定デバイス	W	1024	00000	003FF
4	RW _w	1024	00000	003FF	⚙️	指定デバイス	W	1024	00400	007FF
5	RX	80	00050	0009F	⚙️	指定デバイス	X	80	01050	0109F
6	RY	80	00050	0009F	⚙️	指定デバイス	Y	80	01050	0109F
7	RW _r	1024	00400	007FF	⚙️	指定デバイス	W	1024	00800	00BFF
8	RW _w	1024	00400	007FF	⚙️	指定デバイス	W	1024	00C00	00FFF
9					⚙️					



付録 2.3. グローバルラベルの設定

- 1 台目のゲートウェイユニットに対しては、項「1.5. グローバルラベルの設定」を参照し、設定してください。
- 1 台目で使用するラベル名と2 台目で使用するラベル名が重複しない(同一名称にならない)ように定義します。

(1) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル — Global」を選択します。



(2) M_RX2 リモート出力(RX)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RX2」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「X1050」に、インデックスレジスタ「Z9」を付加して入力します。 「X1050Z9」を入力します。

(3) M_RY2 リモート出力(RY)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RY2」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「Y1050」に、インデックスレジスタ「Z8」を付加して入力します。 「Y1050Z8」を入力します。

(4) M_RWw2 リモートレジスタ(RWw)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWw2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W0C00」に、インデックスレジスタ「Z7」を付加して入力します。 「W0C00Z7」を入力します。

(5) M_RWr2 リモートレジスタ(RWr)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWr2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W800」に、インデックスレジスタ「Z6」を付加して入力します。 「W800Z6」を入力します。

Global [グローバルラベル設定]

<フィルタ> 簡易表示(Y) 表示設定(S) チェック(K)

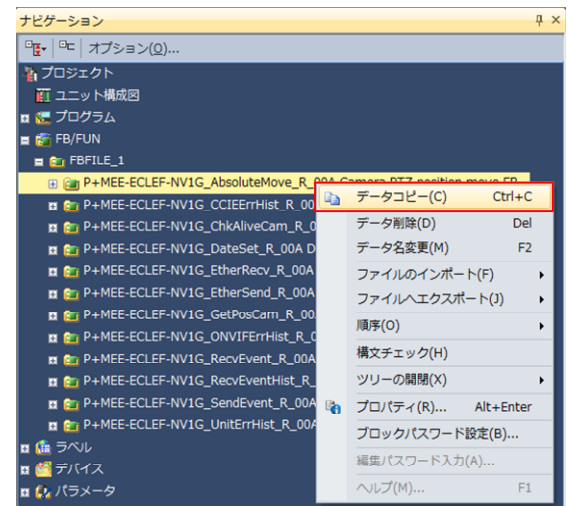
	ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント
1	M_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1 00029			RX1リフレッシュデバイス
2	M_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 00028			RY1リフレッシュデバイス
3	M_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W40027			RWw1リフレッシュデバイス
4	M_RWr	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0Z6			RWr1リフレッシュデバイス
5	M_RX2	ビット	VAR_GLOBAL	X1 05029			RX2リフレッシュデバイス
6	M_RY2	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 05028			RY2リフレッシュデバイス
7	M_RWw2	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0C0027			RWw2リフレッシュデバイス
8	M_RWr2	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W800Z6			RWr2リフレッシュデバイス
9							



付録 2.4. ライブラリのコピー(複製)

(1) ライブラリのコピー

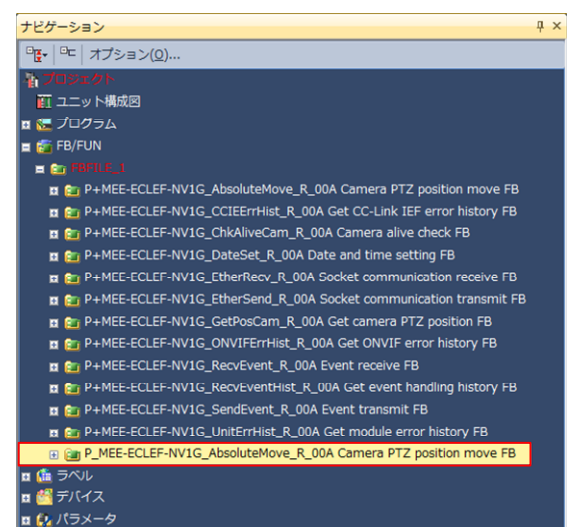
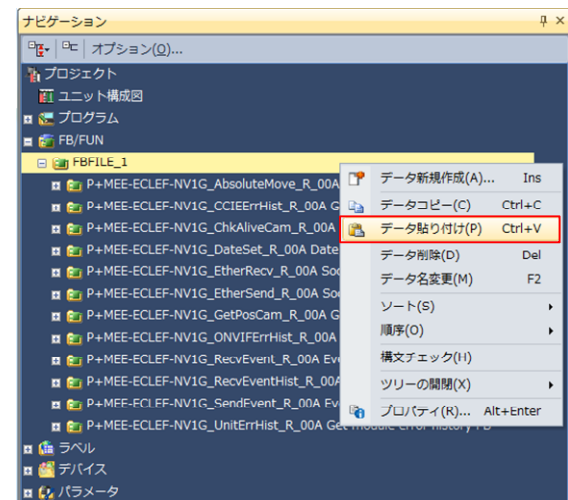
ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある 2 台目のゲートウェイユニットに必要なFBを選択して、データコピーします。



(2) ライブラリの貼り付け

ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある【FBFILE_1】に先にコピーした FB を貼り付けします。

FB 名称は自動で付けられます。



【ポイント】

※ P+. . . の“+”という文字は入力することができません。



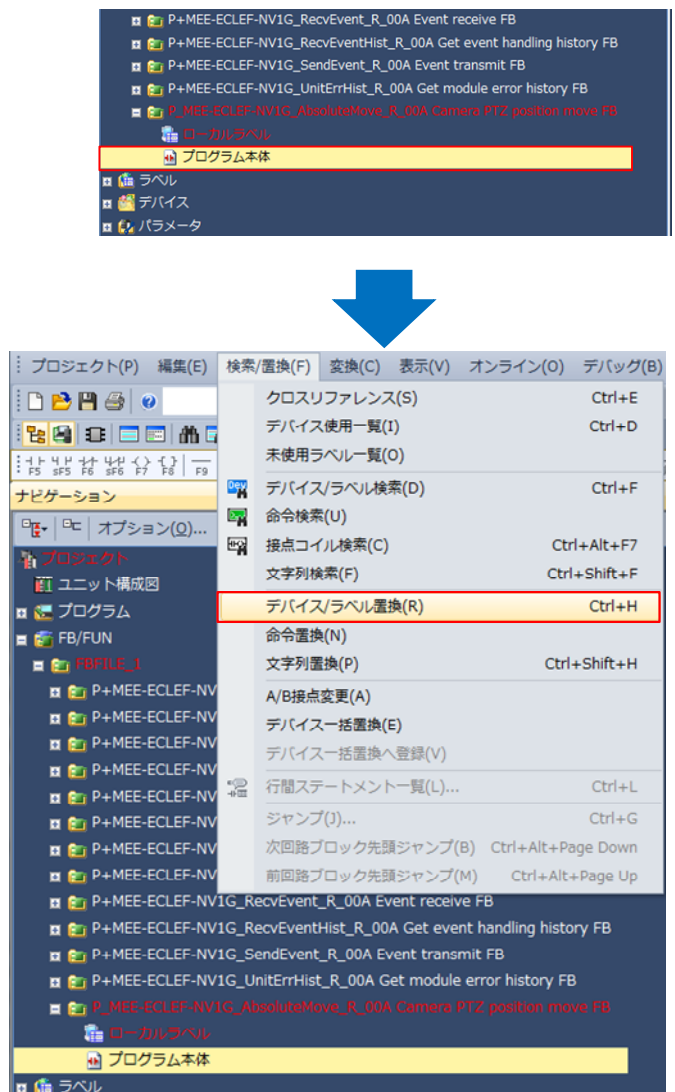
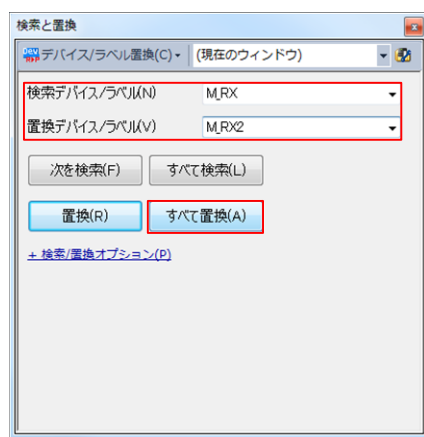
ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク/ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット
FB ライブラリ リファレンスマニュアル
50CM-D180211-B

付録 2.5. デバイスの置き換え

追加した FB の「プログラム本体」を開き、メニューの「検索/置換(F)」を選択、「デバイス置換/ラベル置換(R)」を選択して、「検索と置換」画面を表示します。

デバイス/ラベル置換を「(現在のウィンドウ)」検索デバイス/ラベルを「M_RX」置換デバイス/ラベルを「M_RX2」に指定し、「すべて置換(A)」をします。

同様に、「M_RY」「M_RWw」「M_RWr」を「M_RY2」「M_RWw2」「M_RWr2」に「すべて置換(A)」をしてください。



以上で 1 枚のマスタ・ローカルユニットで 2 台目のゲートウェイユニットの FB が使用可能になります。

【ポイント】

- ① 2 台目のゲートウェイユニットで使用する FB が複数ある場合には付録 2.4.と付録 2.5.の手順を繰り返してください。
- ② 2 台以上のゲートウェイユニットで FB を使用する場合には、設定する「グローバルラベル名」、FB をデータ貼り付けする際の「貼り付け後データ名」、デバイスを置換する際の「置換デバイス」を他のマスタ・ローカルユニットで使用している名称と重複しないよう設定してください。

【注意事項】

MELSOFT Library のバージョンアップがあったとき、MELSOFT Library の FB は再度、ライブラリ登録することでバージョンアップできますが、本項の手順で作成した 2 枚目以降で使用する FB は再度インポートしても、自動的にバージョンアップされません。

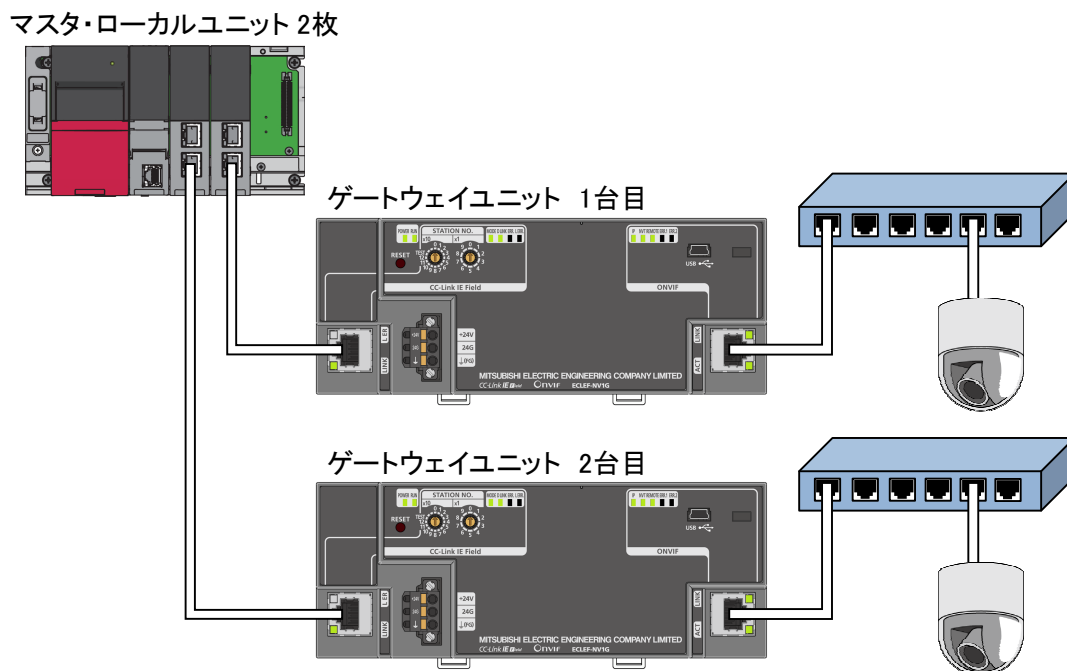
そのため、本項の手順で作成した FB をバージョンアップする場合には、MELSOFT Library のバージョンアップ後、再度、本項の作業をおこなうことで、バージョンアップします。



ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク/ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット
FB ライブラリ リファレンスマニュアル
50CM-D180211-B

付録 3. 2 枚のマス・ローカルユニットにそれぞれ接続されたゲートウェイユニットに FB を使用する方法

CC-Link IE フィールドネットワークマス・ローカルユニット 2 枚にそれぞれゲートウェイユニットを接続する場合について、説明します。



CC-Link IE フィールドネットワークマス・ローカルユニットを 2 枚以上使用する場合、それぞれのマス・ローカルユニットで使用する FB で扱う「グローバルラベル」、「デバイス」は、重複しないように設定する必要があります。

そのため、FB 内部のデバイスを置き換える必要があり、以下の 5 ステップの作業が必要です。

- 1) 必須設定
- 2) 基本設定
- 3) グローバルラベルの設定
- 4) ライブラリのコピー(複製)
- 5) デバイスの置き換え

本項の例では、CC-Link IE フィールドネットワークマス・ローカルユニット 2 枚に 1 台ずつゲートウェイユニットを接続する場合について、説明します。

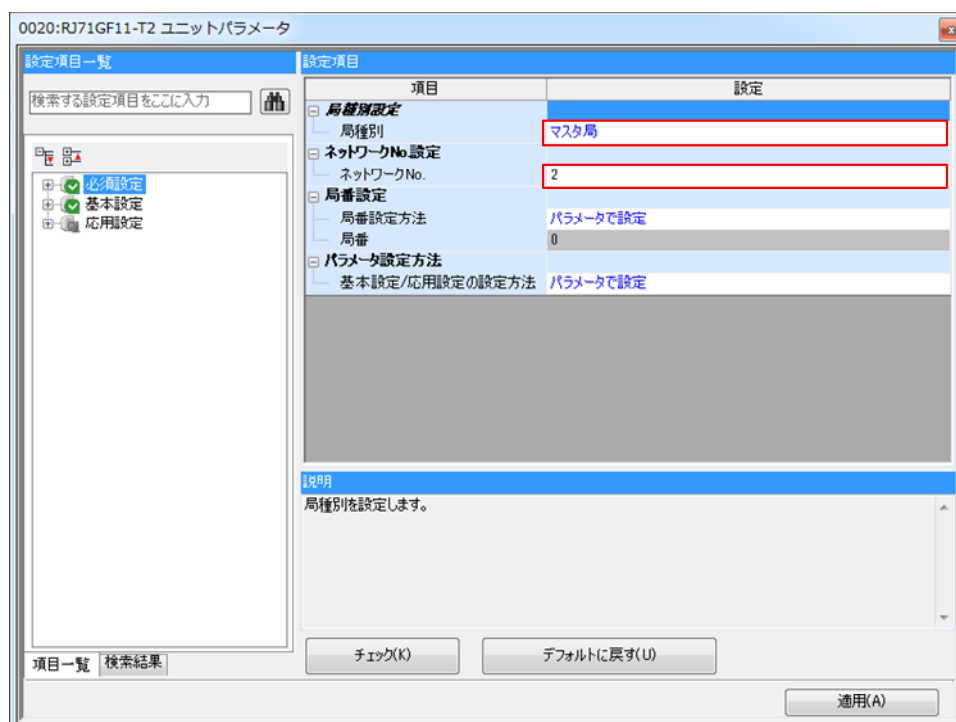


付録 3.1. 必須設定

1 枚目のマスタ・ローカルユニットに対しては、項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」を参照し、設定してください。

2 枚目のマスタ・ローカルユニットに対して、以下のように設定してください。

項目	内容
ネットワーク種別	「マスタ局」を選択します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク No.を設定します。 本項の例では、「2」を設定します。



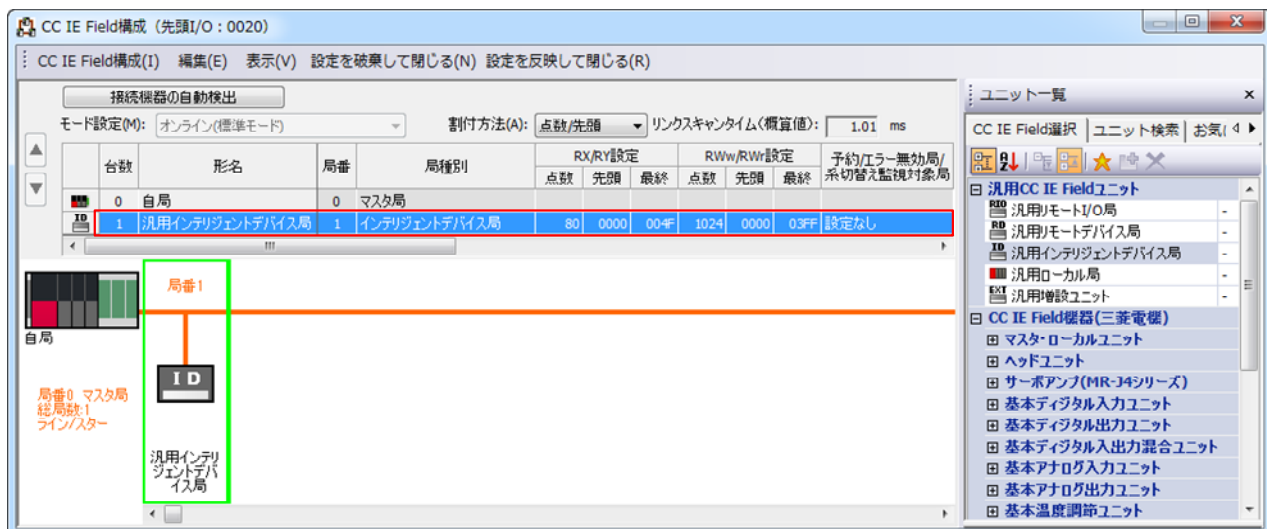
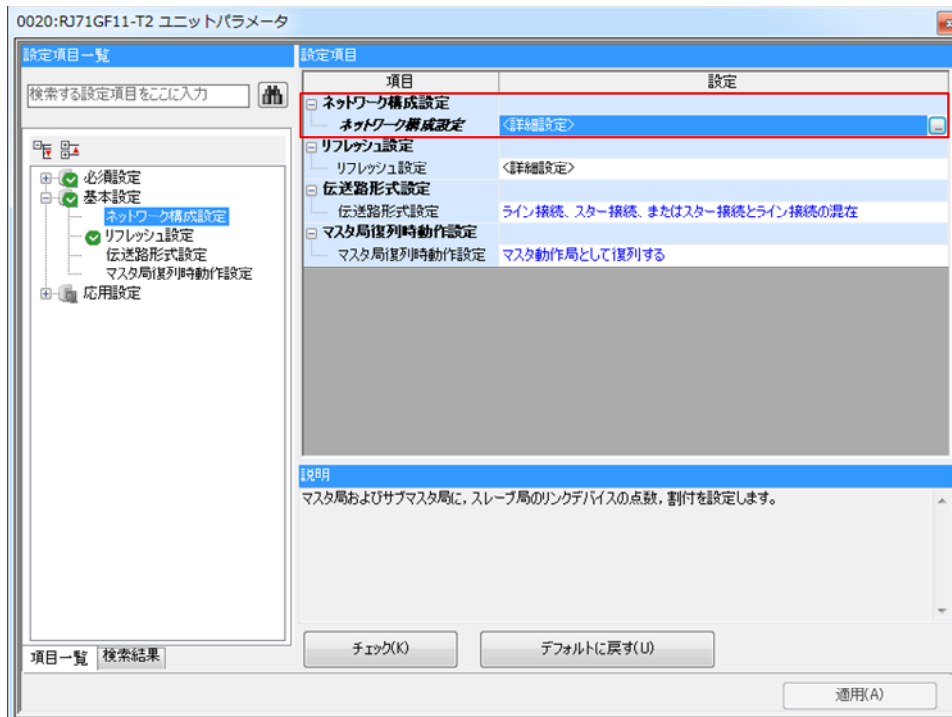
付録 3.2. 基本設定

①ネットワーク構成設定

項目	内容
局番	マスタ局に接続するスレーブ局の局番を設定します。 本項の例では、「1」を設定します。
局種別	マスタ局に接続するスレーブ局の局種別を設定します。 本項の例では、「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/RX 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RX/RX の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「80 点」、先頭に「0000」を設定します。(※1)
RWw/RWr 設定	マスタ局に接続するスレーブ局の RWw/RWr の割付けを設定します。 本項の例では、点数に「1024 点」、先頭に「0000」を設定します。(※1)
予約/エラー無効局/ 系切替え監視対象局	本項の例では、「設定なし」を設定します。

※1 各デバイス設定の先頭は、項「付録 3.3. グローバルラベルの設定」の「M_RX」、「M_RY」、「M_RWw」、「M_RWr」に合わせる必要があります。





② リンクリフレッシュ設定

項目	内容	設定値
SB 転送	SB デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「001FF」 CPU 側デバイス名 :「SB」 CPU 側先頭 :「0200」
SW 転送	SW デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「001FF」 CPU 側デバイス名 :「SW」 CPU 側先頭 :「00200」
リモート入力(RX)	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RX」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「0004F」 CPU 側デバイス名 :「X」 CPU 側先頭 :「010A0」
リモート出力(RY)	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RY」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「0004F」 CPU 側デバイス名 :「Y」 CPU 側先頭 :「010A0」
リモートレジスタ(RW _r)	RW _r デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _r 」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「003FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「01000」
リモートレジスタ(RW _w)	RW _w デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	リンク側デバイス名 :「RW _w 」 リンク側先頭 :「00000」 リンク側最終 :「003FF」 CPU 側デバイス名 :「W」 CPU 側先頭 :「01400」



0020:RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

検索する設定項目をここに入力

- 必須設定
- 基本設定
 - ネットワーク構成設定
 - リフレッシュ設定**
 - 伝送路形式設定
 - マスタ局復列時動作設定
- 応用設定

設定項目

項目	設定
ネットワーク構成設定	
ネットワーク構成設定	<詳細設定>
リフレッシュ設定	
リフレッシュ設定	<詳細設定>
伝送路形式設定	
伝送路形式設定	ライン接続、スター接続、またはスター接続とライン接続の混在
マスタ局復列時動作設定	
マスタ局復列時動作設定	マスタ動作局として復列する

説明

リフレッシュを設定します。

項目一覧 検索結果

チェック(K) デフォルトに戻す(U)

適用(A)

No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SB	512	00200	003FF
-	SW	512	00000	001FF	↔	指定デバイス	SW	512	00200	003FF
1	RX	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	X	80	010A0	010EF
2	RY	80	00000	0004F	↔	指定デバイス	Y	80	010A0	010EF
3	RWr	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	01000	013FF
4	RWw	1024	00000	003FF	↔	指定デバイス	W	1024	01400	017FF
5					↔					



付録 3.3. グローバルラベルの設定

1 枚目のマスタ・ローカルユニットに対しては、項「1.5. グローバルラベルの設定」を参照し、設定してください。
1 枚目で使用するラベル名と2 枚目で使用するラベル名が重複しない(同一名称にならない)ように定義します。

(1) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル — Global」を選択します。



(2) M_RX3 リモート出力(RX)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RX3」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「X10A0」に、インデックスレジスタ「Z9」を付加して入力します。 「X10A0Z9」を入力します。

(3) M_RY3 リモート出力(RY)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RY3」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「Y10A0」に、インデックスレジスタ「Z8」を付加して入力します。 「Y10A0Z8」を入力します。

(4) M_RWw3 リモートレジスタ(RWw)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWw3」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W1400」に、インデックスレジスタ「Z7」を付加して入力します。 「W1400Z7」を入力します。

(5) M_RWr3 リモートレジスタ(RWr)の設定をおこないます。

項目	内容
ラベル名	「M_RWr3」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭「W1000」に、インデックスレジスタ「Z6」を付加して入力します。 「W1000Z6」を入力します。

Global1 [グローバルラベル設定]

<フィルタ> 簡易表示(Y) << 表示設定(S) チェック(K)

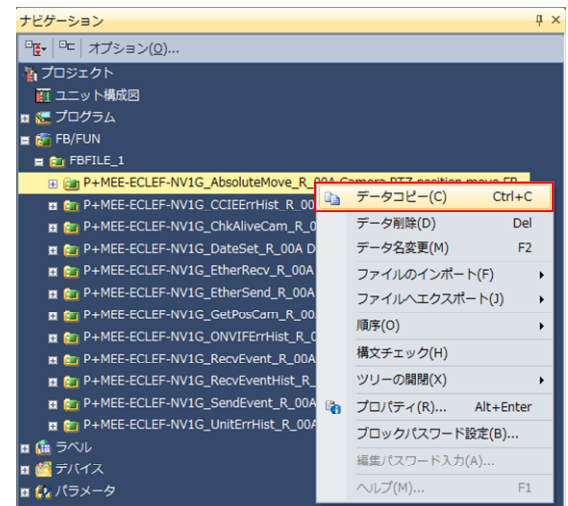
	ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント
1	M_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1 000Z9			RX0リフレッシュデバイス
2	M_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 000Z8			RY0リフレッシュデバイス
3	M_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W400Z7			RWw0リフレッシュデバイス
4	M_RWr	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0Z6			RWw1リフレッシュデバイス
5	M_RX3	ビット	VAR_GLOBAL	X1 0A0Z9			RX3リフレッシュデバイス
6	M_RY3	ビット	VAR_GLOBAL	Y1 0A0Z8			RY3リフレッシュデバイス
7	M_RWw3	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W1 400Z7			RWw3リフレッシュデバイス
8	M_RWr3	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W1 000Z6			RWw3リフレッシュデバイス
9							



付録 3.4. ライブラリのコピー(複製)

(1) ライブラリのコピー

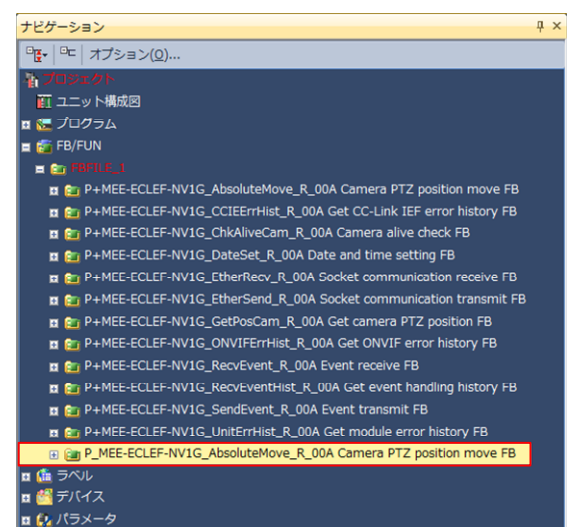
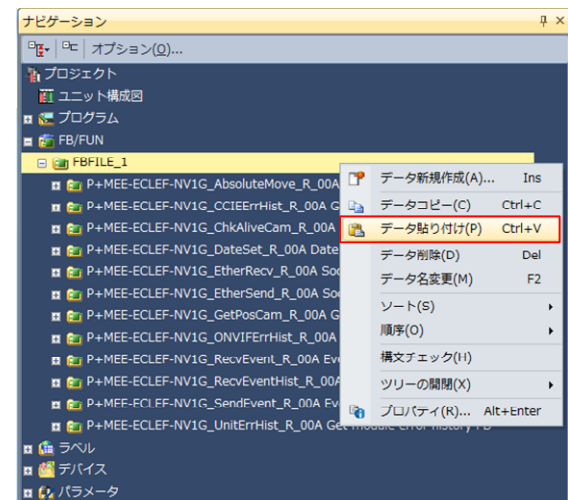
ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある 2 枚目のマスタ・ローカルユニットに必要な FB を選択して、データコピーします。



(2) ライブラリの貼り付け

ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある【FBFILE_1】に先にコピーした FB を貼り付けします。

FB 名称は自動で付けられます。



【ポイント】

※ P+... の“+”という文字は入力することができません。



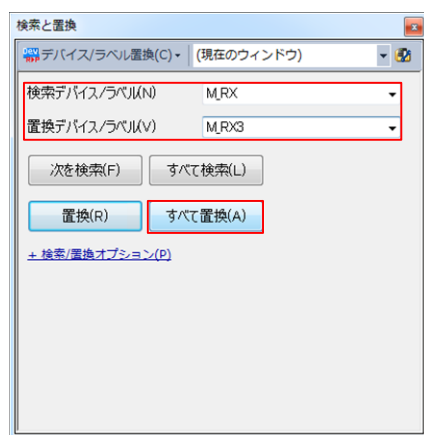
ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク/ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット
FB ライブラリ リファレンスマニュアル
50CM-D180211-B

付録 3.5. デバイスの置き換え

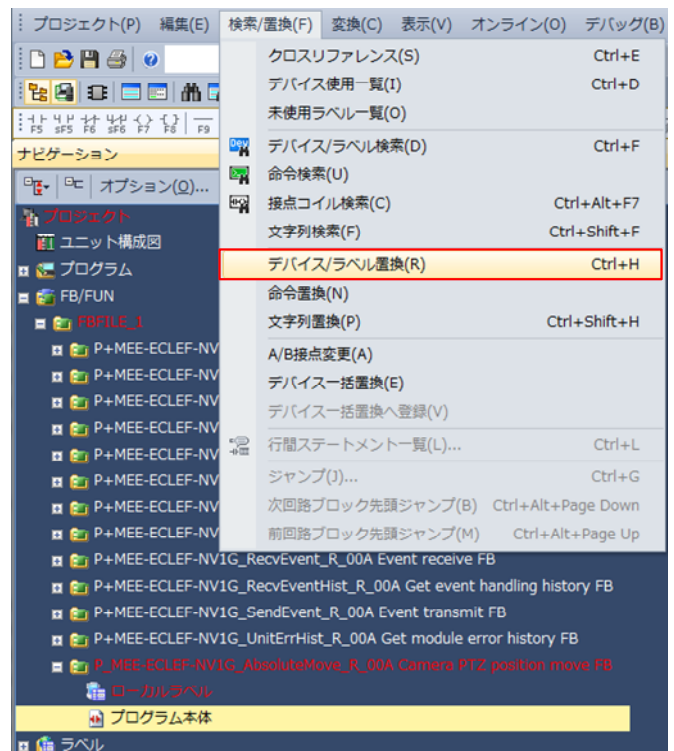
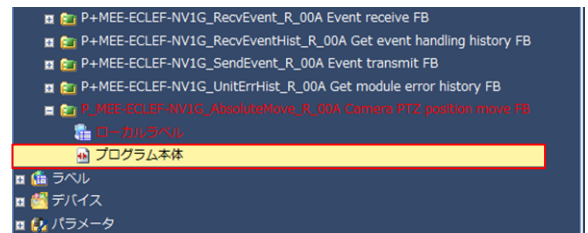
追加した FB の「プログラム本体」を開き、
メニューの「検索/置換(F)」を選択、
「デバイス置換/ラベル置換(R)」を選択して、
「検索と置換」画面を表示します。

デバイス/ラベル置換を「(現在のウィンドウ)」
検索デバイス/ラベルを「M_RX」
置換デバイス/ラベルを「M_RX3」に指定し、
「すべて置換(A)」をします。

同様に、「M_RY」「M_RWw」「M_RWr」を
「M_RY3」「M_RWw3」「M_RWr3」に
「すべて置換(A)」をしてください。



以上で 2 枚目のマスタ・ローカルユニットで FB を
使用可能になります。



【ポイント】

- ① 2 枚目のマスタ・ローカルユニットで使用する FB が複数ある場合には付録 3.4.と付録 3.5.の手順を繰り返してください。
- ② 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合には、設定する「グローバルラベル名」、FB をデータ貼り付けする際の「貼り付け後データ名」、デバイスを置換する際の「置換デバイス」を他のマスタ・ローカルユニットで使用している名称と重複しないよう設定してください。

【注意事項】

MELSOFT Library のバージョンアップがあったとき、MELSOFT Library の FB は再度、ライブラリ登録することでバージョンアップできますが、本項の手順で作成した 2 枚目以降で使用する FB は再度インポートしても、自動的にバージョンアップされません。

そのため、本項の手順で作成した FB をバージョンアップする場合には、MELSOFT Library のバージョンアップ後、再度、本項の作業をおこなうことで、バージョンアップします。



ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク/ONVIF ネットワーク対応 ゲートウェイユニット
FB ライブラリ リファレンスマニュアル
50CM-D180211-B

付録 4. エラーコード一覧

付録 4.1. FB エラーコード一覧

エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H100	CC-Link IE フィールドネットワーク局番設定が 1～120 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H101	FB に指定している CC-Link IE フィールドネットワーク局番とネットワークパラメータの局番指定が異なります。	以下の設定内容を確認してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1.4. CC-Link IE フィールドネットワーク マスタ・ローカルユニットの設定」の「(2)ネットワーク構成設定」を参照してください。 ・i_wStationNo(CC-Link IE フィールドネットワーク局番)の設定値
H102	カメラ番号が 1～16 の範囲外です。	設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H103	カメラ位置番号が 0～99 の範囲外です。	
H104	パンチルトスピードが 1～10 の範囲外です。	
H105	ズームスピードが 1～10 の範囲外です。	
H106	イベント送信のアクセスコードが H0B, H0C 以外です。	
H107	イベント受信番号が 1～16 の範囲外です。	
H108	エラー履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	
H109	エラー履歴読み出し点数が 1～50 の範囲外です。	
H10A	エラー履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H10B	イベントハンドリング履歴読み出し開始位置が 1～50 の範囲外です。	
H10C	イベントハンドリング履歴読み出し点数が 1～25 の範囲外です。	
H10D	イベントハンドリング履歴読み出し開始位置と読み出し点数の合計が 51 を超えています。	
H10E	送信先機器ポート番号が 1～32767 の範囲外です。	
H10F	送信データサイズが 1～944 ワードの範囲外です。	



エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H200	ゲートウェイユニットにエラーが発生しています。	ECLEF-NV1G 形 CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニットユーザズ マニュアル(詳細編)を参照してください。
H201	ゲートウェイユニットが READY ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源投入後、ゲートウェイユニットの準備が完了してから、再度 FB を実行してください。 ・IP LED が赤点灯の場合、IP アドレスを DHCP サーバから取得できていません。 ネットワークの設定、接続を確認してください。
H202	カメラ警告が ON しています。	ゲートウェイ設定ツールのメンテナンス画面にてエラー内容を確認してください。
H203	カメラが Busy 状態になっています。	しばらくしてから、再度 FB を実行してください。 同じカメラ番号を指定しているカメラ位置移動 FB の実行指令を OFF してください。
H204	トランジェント伝送でエラーが発生しました。	ゲートウェイユニットと CC-Link IE フィールドネットワーク(シーケンサ)の接続、設定を確認した後、再度 FB を実行してください。
H400	<p>実行中に i_bEN(実行指令)が OFF にされたため、実行を中止しました。</p> <p>※ 1 スキャンのみ出力</p>	再度 FB を実行する場合は、o_bOK(正常完了)、o_bErr(異常完了)がともに OFF していることを確認した上、i_bEN(実行指令)を ON してください。



付録 4.2. 機器エラーコード一覧

エラーコード (16 進数)	内容	処置方法
H300～H341	IP アドレスエラー	CC-Link IE フィールドネットワーク／ONVIF ネットワーク対応ゲートウェイユニット ECLEF-NV1G ユーザーズマニュアル(詳細編) を参照してください。
H400～H441	データ送信エラー	
H500～H5FF	NVT 情報取得エラー	
H600～H6FF	カメラ警告	



商標

Microsoft, Windows は, 米国 Microsoft Corporation の米国, 日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Ethernet は, 富士ゼロックス株式会社の日本における登録商標です。
ONVIF は, ONVIF Inc.の登録商標です。
MELSEC, MELSOFT, CC-Link は, 三菱電機株式会社の日本における登録商標です。
本文中における会社名, システム名, 製品名などは各社の登録商標または商標です。
本文中で, 商標記号(® , ™)は明記していない場合があります。





名古屋事業所 営業部

〒486-0906 愛知県春日井市下屋敷町字下屋敷139
TEL. 0568-36-2096 FAX. 0568-36-2376

技術お問い合わせ

名古屋事業所 技術サポートセンター

TEL. 0568-36-2068 FAX. 0568-36-2045
受付／9：00～12：00, 13：00～17：00 月曜～金曜
(土・日・祝祭日, 春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日)

共同開発パートナー

図研エルミック株式会社 営業本部

〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル2F
TEL. 045-624-8002 FAX. 045-476-1102
受付／9：00～12：00, 13：00～17：00 月曜～金曜
(土・日・祝祭日, 春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日)